Haier

電気洗濯乾燥機　取扱説明書

取扱説明書

高濃度洗浄機能搭載※

ハイアール電気洗濯乾燥機

（家庭用）

品番 JW-G50C

※高濃度洗浄液から洗い始め、繊維のすみずみまで洗剤を浸透させ、汚れを芯から引きはがします。

Haier

くらしにフィットする家電。ハイアール

保証書別添

- このたびは、お買上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、「保証書」とともに大切に保管していただき、取扱いが不明な場合や、不具合が生じたときにお役立てください。

初めて使用するときに、排水ホースから水が出ることがあります。これは工場での性能テストによる残水です。

もくじ

廃棄時にご注意ください

- 2001年4月より施行されている家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄する場合、収集・運搬料金と再商品化等の料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検	★長年ご使用の『洗濯機』の点検を！		
	このような症状はありませんか?	● 電源コード、プラグが異常に熱い ● 電源コードに深いキズや変形がある ● 焦げくさいにおいがする ● 運転中に異常な音や振動がする ● 洗濯機に触れるとビリビリ電気を感じる ● その他異常や故障がある	このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

お客様メモ（後日のために、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	JW-G50C
販売店名	☎（　　）　－		
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－		

ハイアールジャパンセールス株式会社　〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー7F

10.8

安全上のご注意

※ご使用になる前に、この『**安全上のご注意**』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※お読みになった後は、次にお使いになる場合にすぐ見られるところへ大切に保管してください。

この家庭用全自動電気洗濯機は、よごれた衣服などを洗う目的や衣服などを脱水する目的に使用するものですので、それ以外のご使用は絶対しないでください。
この用途以外でのご使用で発生した故障・修理・事故その他の不具合については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

表示について

ここに表示している『**安全上のご注意**』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
『**警告**』『**注意**』の2つに大別してお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	取り扱いを誤ると死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容を表示。
	取り扱いを誤ると傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生すると想定される内容を表示。

■表示の例

お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。下記はその一例です。

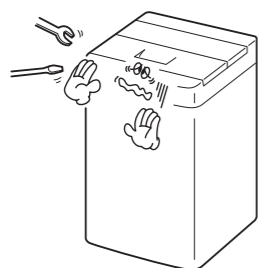
△記号は、「警告や注意を促す」内容のものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）を示します。

⦸記号は、してはいけない「禁止」内容のものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示します。

●記号は、必ず実行していただく「強制」内容のものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）を示します。

⚠警告

改造は絶対しない。また、修理技術者以外の人が分解したり修理しない

- 火災・感電・けがの原因となります。
  修理はお買い上げの販売店または、お客様修理ご相談窓口にご相談ください。

分解禁止

回転中の洗濯・脱水槽に手を入れない

- 洗濯・脱水槽の回転が完全に止まるまでは、絶対に中の洗濯物や洗濯・脱水槽に手を触れないでください。ゆるい回転でも、洗濯物が手に巻きついてけがをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

接触禁止

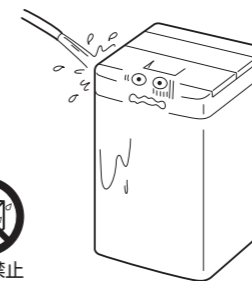
⚠警告

幼児には洗濯・脱水槽をのぞかせない

- 洗濯機の近くに台などを置かないでください。洗濯・脱水槽の中に幼児が落ちてけがをしたり、おぼれたりするおそれがあります。

禁止

本体各部に直接水をかけない

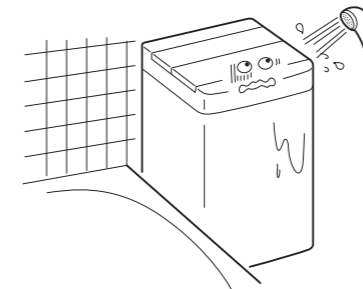
- ショート・感電のおそれがあります。

水ぬれ禁止

風雨にさらされるところには、据え付けない

- 風雨にさらされる場所、湿気の多い場所には据え付けないでください。感電・火災・故障・変形のおそれがあります。

水ぬれ禁止

浴室・シャワー室などには、据え付けない

- 感電・火災・故障・変形のおそれがあります。

浴室での使用禁止

アースを確実におこなう

- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。

アース

火気を近付けない

- 火気を近付けたり、火のついたロウソク・たばこ・蚊取り線香・熱いヤカンなどを置かないでください。火災や変形の原因になります。

火気禁止

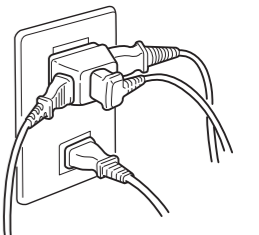
引火物の付着した衣類は洗濯・乾燥しない

- 食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル（ボディオイルやエステ系のオイルなど）、灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、樹脂（セルロース系）などの付着した衣類は洗濯・乾燥をしないでください。
  また、ポリプロピレン繊維製の衣類は洗濯後でも絶対に乾燥しないでください。自然発火や引火のおそれがあります。

禁止

定格15A以上のコンセントを単独で使用する

- 他の器具と併用した場合、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

コンセントを単独で

交流100V以外では、使用しない

- 火災の原因になります。

禁止

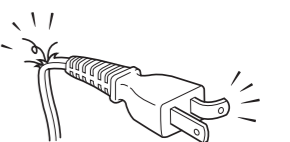
電源コードは束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしない

- 電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

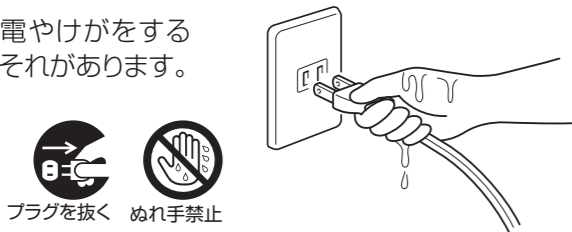
禁止

電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

⚠警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また濡れた手で抜き差ししない

- 感電やけがをするおそれがあります。

電源プラグを本体で押し付けない

- 傷つき、過熱発火のおそれがあります。

電源プラグの刃及び刃の取付面にホコリが付着している場合はよく拭く

- 火災の原因になります。

⚠注意

洗濯機の上にのぼったり、重いものを載せない

- 変形·破損によりけがをするおそれがあります。

洗濯時、50℃以上のお湯は使わない

- プラスチック部品の変形や傷みにより、感電や漏電の原因になります。

運転中、洗濯機の下に手や足を入れない

- 回転部があり、けがをするおそれがあります。

接触禁止

温風乾燥中·温風乾燥終了直後は乾燥ユニット上部および洗濯·脱水槽にさわらない

- やけどをするおそれがあります。

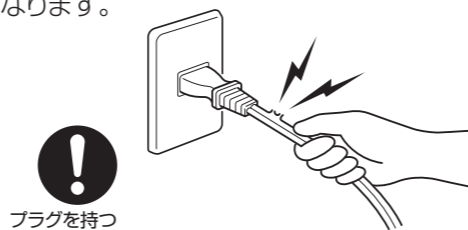
マット類は乾燥しない

- マットが洗濯·脱水槽に付着したり、衣類を汚すことがあります。また、素材によっては化学変化により自然発火するおそれがあります。

洗濯前は、必ず水栓を開いて給水ホースの接続を確認する

- ネジがゆるんだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く

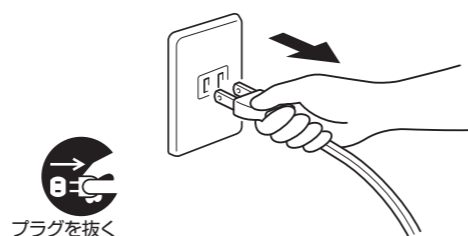
- コードを引っ張ると、コードが破損し、感電·ショート·火災の原因になります。

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントより抜く

- ホコリがたまって発熱·発火の原因になることがあります。

防水性のマット·シートや衣類、水を通しにくい繊維製品は、洗い·すすぎ·脱水·乾燥をしない

- 洗濯物が飛び出したり、異常振動で洗濯機が転倒してけがをしたり、洗濯機·かべ·床などの破損、衣類の損傷などのおそれがあります。洗濯物の絵表示を見て洗濯時の参考にしてください。

（足拭きマットなどかたくて厚いもの、雨ガッパ、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、スキーウエア、自転車·バイク·自動車カバー、寝袋など）

禁止

■使用上のお願い

ご使用後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水漏れを防止するためです。

ふたが破損したり、運転中にふたを開けたときに洗濯·脱水槽が回っている場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

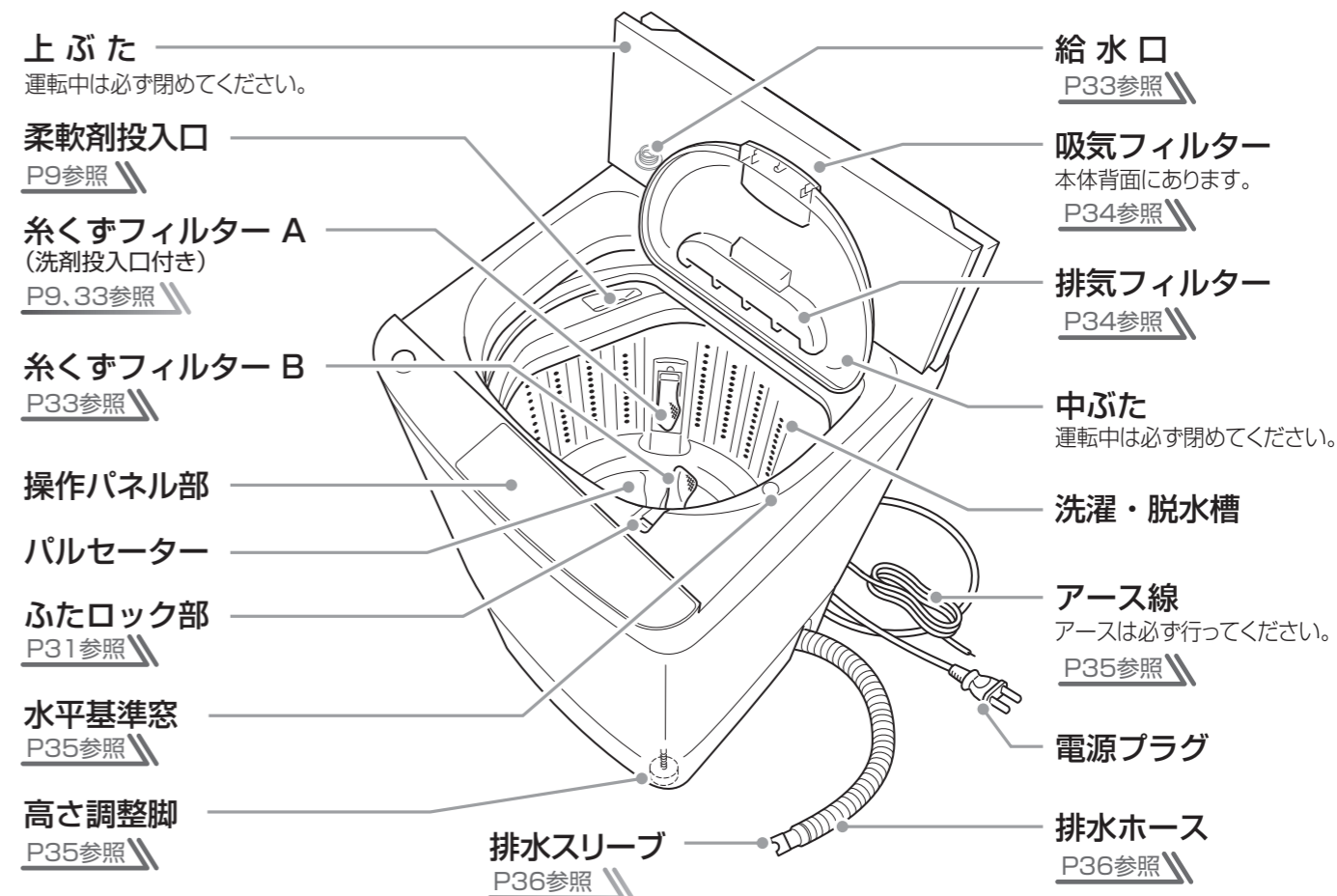
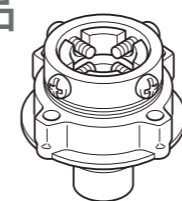
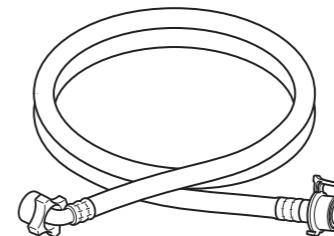
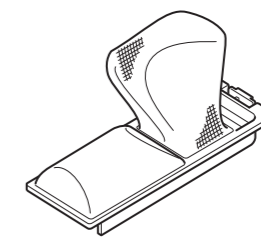
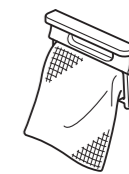
- けがの原因になります。

雷が鳴り出したら、洗濯機やコンセントにはさわらないでください。

- 感電するおそれがあります。

各部の名称

本 体

※図はイメージです。製品とは、若干異なることがあります。

付属品

マジックつぎ手
P37·38参照

給水ホース
P38参照

糸くずフィルター A
P9、33参照

糸くずフィルター B
P33参照

操作パネル部

■操作パネルのボタンには点字が付記してあります。
● 一部、省略文字になっています。各ボタンの説明で( )内にカタカナで表記しているのが点字の内容です。

電源(入/切)ボタン
● 電源を入/切します。

■オートOFF機能
● 洗濯終了後、自動的に電源が切れます。
● スタートせずに約5分経過すると、自動的に電源が切れます。

水位ボタン (スイイ)
● 水位(水量)の切り換えをします。P8、27参照

水位ランプ
● 選択されている水位をランプの点灯でお知らせします。
● 『おまかせ』コースの自動運転時の水位は、無段階に自動設定され、最も近い水位が点灯します。

水 位: 36L → 41L → 18L → 30L

残り時間/予約時間/内容表示
残り時間
● コース・行程の選択中と運転中は、洗濯終了までの残り時間を表示します。
● 『おまかせ』コースの布量検知中は" - - - "と表示されます。
予約時間
● 予約タイマー運転中は、洗濯終了予定までの時間を表示します。
内容表示
● エラーの内容を表示します。

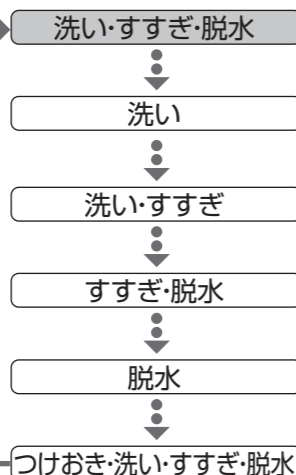
スタート/一時停止ボタン
(スタート)
● 運転を開始します。
● 運転中に押すと、一時停止します。もう一度押すと、一時停止したところから運転を再開します。
● 5秒間押し続けて運転を開始させると、終了音を消すことができます。P31参照

電源
入/切

予約ボタン (ヨヤク)
● 予約タイマー運転の洗濯終了時間を設定をします。
● 1時間単位で、2〜24時間後までの設定ができます。
P29·30参照

予約ランプ
● 予約中にランプが点灯します。

行程ボタン (コーテイ)
● 行程の切り換えをします。
P27参照

行程ランプ
● 選択されている行程をランプの点灯で、進行中の行程をランプの点滅でお知らせします。

乾燥ボタン (カンソー)
● 乾燥時間の切り換えをします。
P25·26 参照

乾燥ランプ
● 選択されている時間をランプの点灯でお知らせします。

乾燥: 送風(30分) → 30分 → 60分(1時間) → 90分(1.5時間) → 180分(3時間) → 240分(4時間) → 270分(4.5時間) → 切(ランプ消灯)

コースボタン (コース)
● コースの切り換えをします。P11〜27参照
● チャイルドロックの設定・解除をします。(約5秒間押す) P31参照

コースランプ
● 選択されているコースをランプの点灯でお知らせします。

ふたロックランプ
● ふたがロックされているときに、ランプが点灯します。P31参照

チャイルドロックランプ
● チャイルドロック設定もしくは動作中に ☺ のランプが点灯します。
P31参照

洗濯前の準備

洗濯機の準備

1 排水ホースを、排水口に差し込む

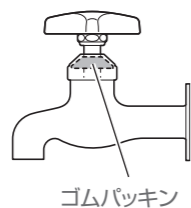
P36参照

- 据え付け時や初めて使用するとき、排水ホースから水が出ることがありますが、これは工場での性能テストの残水で故障や不良ではありません。

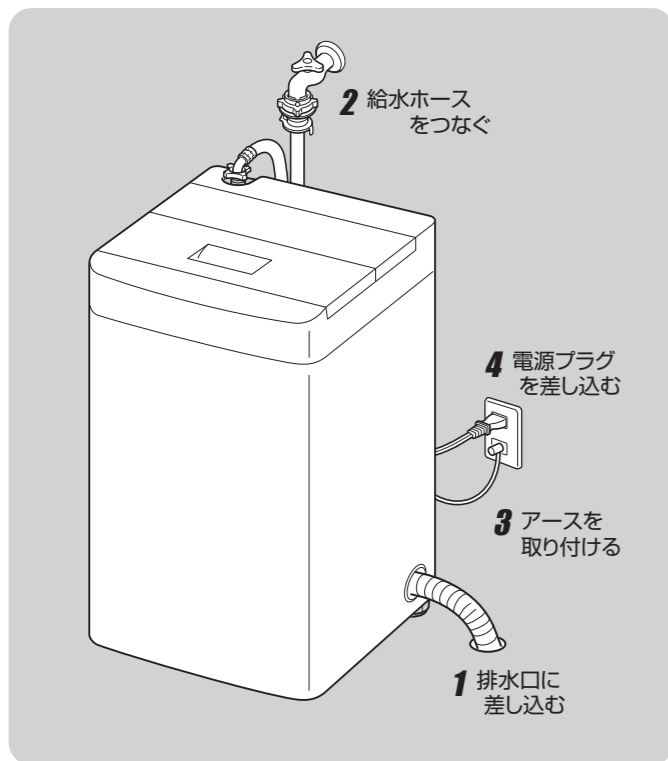
2 給水ホースをつなぐ P37・38参照

- 水栓を開いて、マジックつぎ手や給水ホースの接続部より水漏れがないか確認してください。

水栓から水が漏れる場合は…

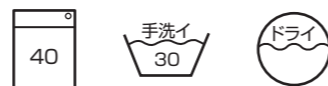
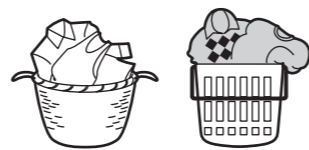
水栓のゴムパッキンが劣化している場合に水栓から水が漏れることがあります。万一水漏れする場合は水栓器具の販売店ににご相談ください。

3 アースを取り付ける P35参照

4 電源プラグをコンセントに差し込む

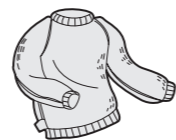
- 電源プラグは、根本まで確実に差し込んでください。

衣類の準備

■ポケットに所持品が入っていないか確かめる

- 鍵やコインなどが入っていると衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。必ず取り出してください。

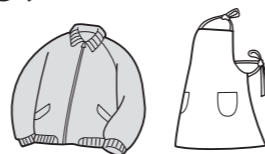
■衣類の絵表示に従って洗う

■色物と白物、厚物と薄物を分けて洗う

■大きく軽い洗濯物は、少しずつ洗濯する

- サイズが大きく軽い洗濯物は水に浮きやすく、一度にたくさん洗うと、給水時に水が飛び散って床をぬらしたり、脱水時にはみ出して衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

■毛玉や糸くずの出るものは、裏返しにする

■ほこりやどろ、砂などがついた服は前もってはたき落とす

- 衣類にどろなどがついたままですと洗濯機の故障の原因になります。

■エプロンなどのひもは結び、ファスナーは閉める

- 衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

■傷みやすい衣類は、洗濯ネットに入れる

- レースのついた（ランジェリー、ナイロンストッキング、化繊の薄物など）傷みやすい衣類は、市販の洗濯ネットに入れてください。
- ワイヤー入りのブラジャーは必ず市販の洗濯ネット（細かい網目）に入れてください。ワイヤーが飛び出して衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

洗濯量と洗剤量

洗濯物について

- 一度に洗う量は、規格以下の容量で洗ってください。本機の最大容量は、5.0kgです。
- 洗濯物の量が多いときは、無理をせずに何回かに分けて洗ってください。

洗濯物の質量の目安

作業着上・下（混紡 約800g）

パジャマ上・下（木綿 約500g）

Yシャツ（混紡 約200g）

アンダーシャツ（木綿 約130g）

シーツ（木綿 約500g）

バスタオル（木綿 約300g）

ブリーフ（木綿 約50g）

くつ下（混紡 約50g）

※洗濯容量は、JIS（日本工業規格）規定の布地を使用した場合のものです。洗濯物の厚さ、大きさ、種類により洗える量が変わります。

洗濯量と洗剤量の目安

洗濯量（目安）	水量	コンパクト洗剤		粉石けんなど	液体洗剤	柔軟剤
		水30gに対して20gのタイプ	水30gに対して15gのタイプ	水30gに対して40gのタイプ	水30mlに対して40mlのタイプ	水30mlに対して6.6mlのタイプ
3.5kg～5.0kgまで	約41L	約27g	約21g	約55g	約55ml	約9.0ml
2.0kg～3.5kgまで	約36L	約24g	約18g	約48g	約48ml	約8.0ml
0.5kg～2.0kgまで	約30L	約20g	約15g	約40g	約40ml	約6.6ml
0.0kg～0.5kgまで	約18L	約12g	約　9g	約24g	約24ml	約4.0ml

家庭用品品質表示法の改正に伴い、メーカーにより洗剤の標準使用量（水30Lに対し○○g）が表示されていないものもあります。洗剤容器にある「使用量の目安」を参考にしてください。

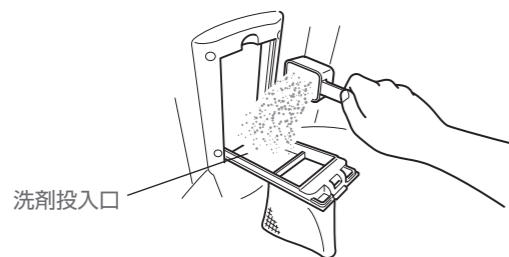
お知らせ

- 計量スプーンのついていない洗剤は、上の表を参考にしてください。計量スプーンの大きさは、洗剤メーカーや銘柄によって異なります。計量スプーン1杯が約37g以外の場合は、製品の水量表示に合わせて洗剤量を計算し、ご使用ください。
- 汚れが多い場合は、洗剤量を調整してください。
- 洗剤は入れ過ぎないようにしてください。すすぎ不十分になり、衣類に残ったり変色の原因になります。
  特に軽い汚れのときは、液体洗剤では泡が多くなりますので、洗剤を入れ過ぎないようにご注意ください。（軽い汚れとは、汗やほこりの様な脂分をほとんど含まない汚れのことです。）

洗剤について

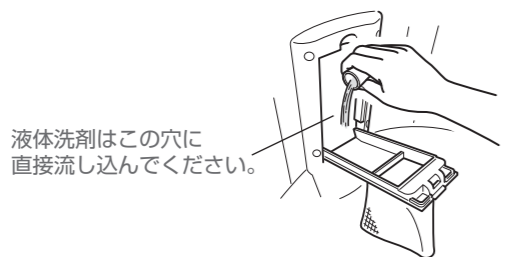
洗 剤

■ 粉末洗剤

糸くずフィルターの洗剤投入口に入れる

- 洗剤を入れた後は必ず糸くずフィルターを閉じてください。
- 洗剤投入口が濡れている場合は、よく拭いてから洗剤を入れてください。
- 粉石けんは、洗剤投入口に入れないでください。

P10参照

■ 液体洗剤

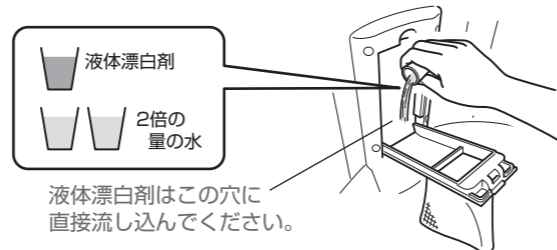
洗剤投入口の奥の穴に流し込む

漂白剤

■ 粉末漂白剤

洗剤と反対側の糸くずフィルターの洗剤投入口に入れる

■ 液体漂白剤

水で薄め、洗剤投入口の奥の穴に流し込む

- 2倍の量の水で薄めて流し込んでください。

ご注意

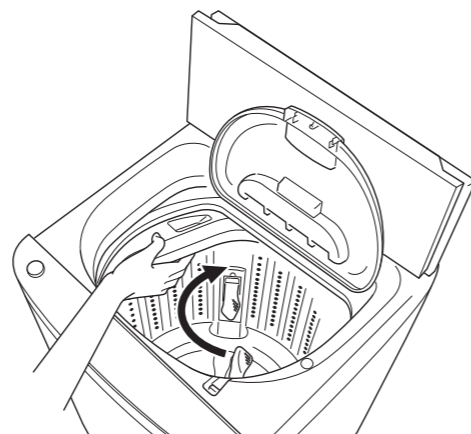
色物には、色物専用の漂白剤を使用してください。

塩素系の漂白剤は、直接洗濯物にかけないでください。

- 変色など洗濯物を傷める原因になります。

柔軟剤

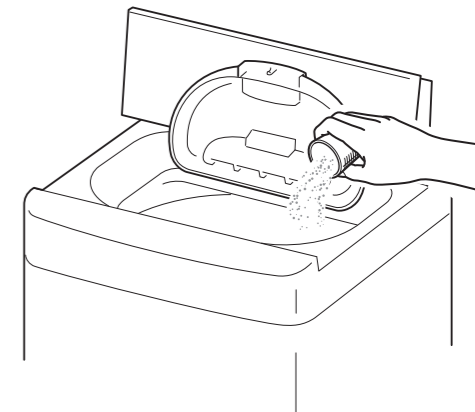
柔軟剤投入口に少しずつ流し込む

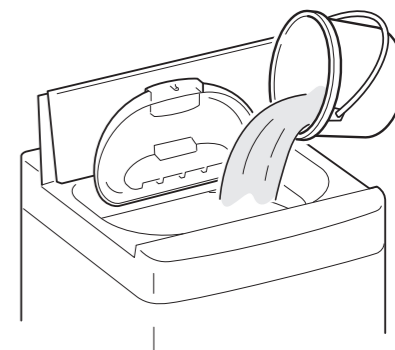
- 柔軟剤は、**最後のすすぎ**のときに自動的に投入されます。
- 「洗い」「すすぎ」の脱水中に一時停止はしないでください。柔軟剤の投入時期が早まり、有効に働きません。
- 柔軟剤を長時間（約12時間以上）入れたままにしないでください。固まってしまうことがあります。
- 濃縮タイプは固まるおそれがあるため、2倍の量に薄めてからご使用ください。
- 柔軟剤投入口はいつも同じ場所にあるとはかぎりません。入れにくい場所にあるときは洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。

粉石けんについて

粉石けんを使うには

溶け残りを防ぐため、粉石けんはあらかじめよく溶かしてからお使いください。

洗濯機で直接溶かす場合

1. 電源を入れ水位「18L」に設定し、スタートボタンを押して運転（給水）する
2. 給水が終わったら一時停止して、粉石けんを入れる
3. 約1分程度運転したら運転を停止し、電源を入れ直す
4. 洗濯物を入れ、ふたを閉める
5. 洗濯する

溶けにくい場合

1. バケツに30℃前後のぬるま湯を、約5L用意する
2. よくかき回しながら、粉石けんを少しずつ入れる
   - 粉石けんが残らないように、よくかき混ぜてください。
3. 洗濯物を入れ、ふたを閉める
4. コースを選択し、スタートボタンを押す
5. 給水が始まったら一時停止して、溶かした粉石けんを入れる
6. スタートボタンを押して運転を再開する

ご注意

粉石けんを使用した場合は、十分にすすぎを行ってください。

- 粉石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすく、黄ばみやにおいの原因になります。

粉石けんは入れすぎないようにご注意ください。

- 粉石けんの使用量が多すぎたり水温が低いと、完全に溶けずに衣類に残ったり、ホースや洗濯・脱水槽に付着したあとにはがれて浮き上がり、洗濯物を汚すことがあります。

粉石けんは洗剤投入ケースに入れないでください。
また、予約タイマー運転には粉石けんを使用しないでください。

- 固まるおそれがあります。

洗濯のしかた

各コースについて

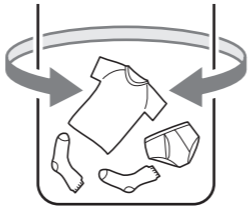
コース	洗濯容量	おすすめの洗濯物の種類
おまかせ	～5.0kg	ふだんの洗濯に… P12参照
念入り	～5.0kg	ジーンズなどの厚手の衣類を洗うときに… P13参照
ソフト	～3.0kg	大切（デリケート）な衣類などを洗うときに… P14参照
お急ぎ	～1.0kg	汚れの少ないものを、手早く洗いたいときに… P15参照
ドライ	～1.0kg	ドライマーク衣類などを洗うときに… P16～18参照
毛布	P19参照	毛布など大物を洗うときに… P19･20参照
槽洗浄	－	洗濯･脱水槽の定期的なお手入れに… P32参照
乾燥のみ	～2.5kg	夜のお洗濯や天気の悪い日も手早く乾燥 P26参照

■ 各コースの行程と洗濯時間の目安（初期設定）

コース	水位	洗い	すすぎ	脱水	所要時間
おまかせ	30L～41L 無段階自動設定	9分～11分 の自動設定	シャワーすすぎ 1回 ＋ ためすすぎ 1回	6分	28～30分
念入り	36L	20分	ためすすぎ2回	6分	53分
ソフト	36L	5分	ためすすぎ2回	3分	29分
お急ぎ	18L	2分	ためすすぎ1回	2分	11分
ドライ	41L	4分	ためすすぎ2回	1分	26分
毛布	41L	12分	ためすすぎ2回	6分	53分
槽洗浄	41L	11時間	ためすすぎ1回	32分	710分

- 所要時間は、水道水圧･排水条件により変わります。表は、給水量が毎分15Lのときの目安です。
- 洗濯･脱水槽にあらかじめ水があるときや、水位の設定を変更したときは、所要時間が変わる場合があります。

布量検知（ファジープログラム）

『おまかせ』コースを選択した場合は、運転開始後にファジープログラムが作動し、布量を自動検知して、「水位」「洗い時間」を自動設定します。

お知らせ

- 『おまかせ』コース自動運転時の水位は、無段階に自動設定されます。
- 洗濯･脱水槽に水が入っている場合は、布量を検知できません。この場合、水位は「36L」と表示されます。洗濯量に応じた水位を設定してください。P8参照
- 濡れている洗濯物を入れた場合は、水位が高く設定されることがあります。洗濯物に応じた水位を設定してください。P8参照

おまかせコース　洗濯容量　～5.0kgまで

1 水栓を開き、電源 入/切 を押す

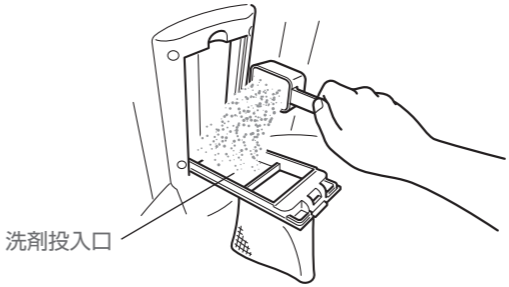
2 ふたを開け、洗濯物を入れる

3 ふたを閉め スタート 一時停止 を押す

- 運転を開始します。
- 布量を自動検知して、水位（洗剤量の目安）と残り時間を表示します。

4 水位が表示されたら

を押して一時停止する

5 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる P9参照

6 柔軟剤を使う場合は

柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯･脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

7 ふたを閉め
を押す

- 運転を再開します。

8 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

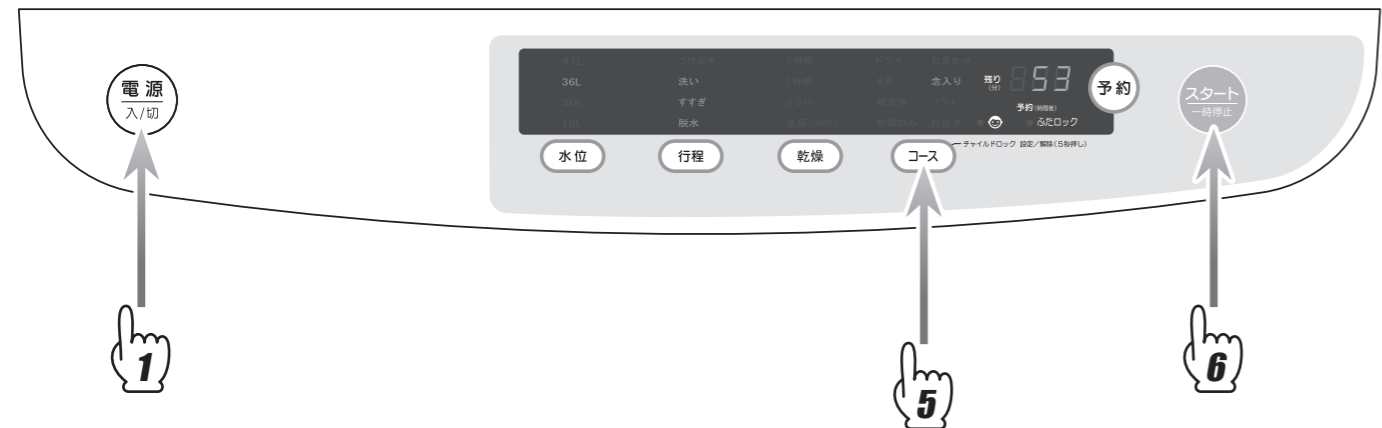
お願い

洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水もれを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

念入りコース　洗濯容量　～5.0kgまで

1 水栓を開き、電源（入/切）を押す

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる P9参照

3 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

4 洗濯物を入れる

5 （コース）を押して『念入り』を選ぶ

6 ふたを閉め を押す

- 運転を開始します。

7 運転終了

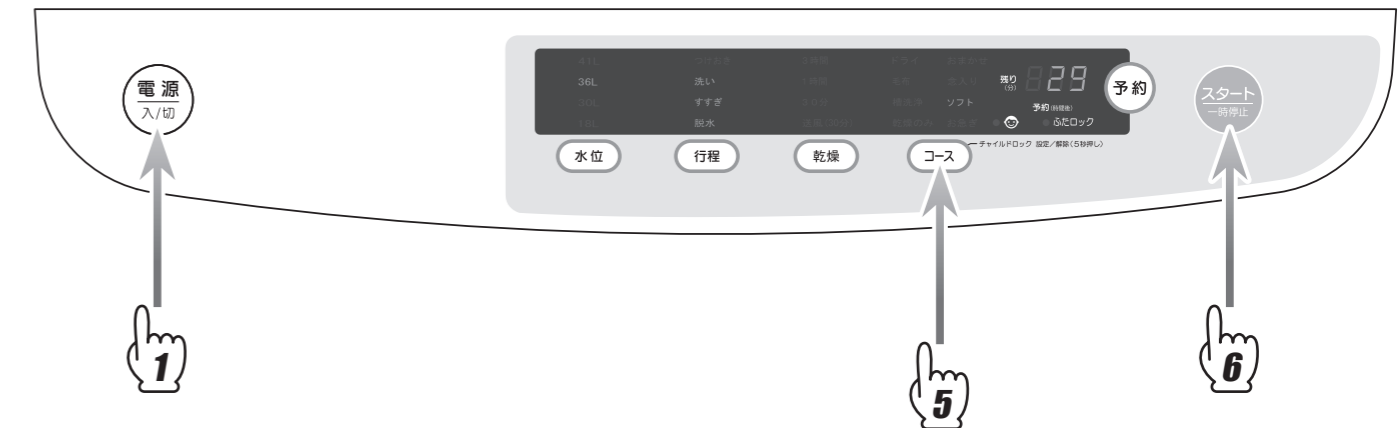
- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。
- 万一の水もれを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

ソフトコース　洗濯容量　～3.0kgまで

 表示のある衣類は洗えません。

1 水栓を開き、電源（入/切）を押す

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる P9参照

3 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

4 洗濯物を入れる

5 （コース）を押して『ソフト』を選ぶ

6 ふたを閉め を押す

- 運転を開始します。

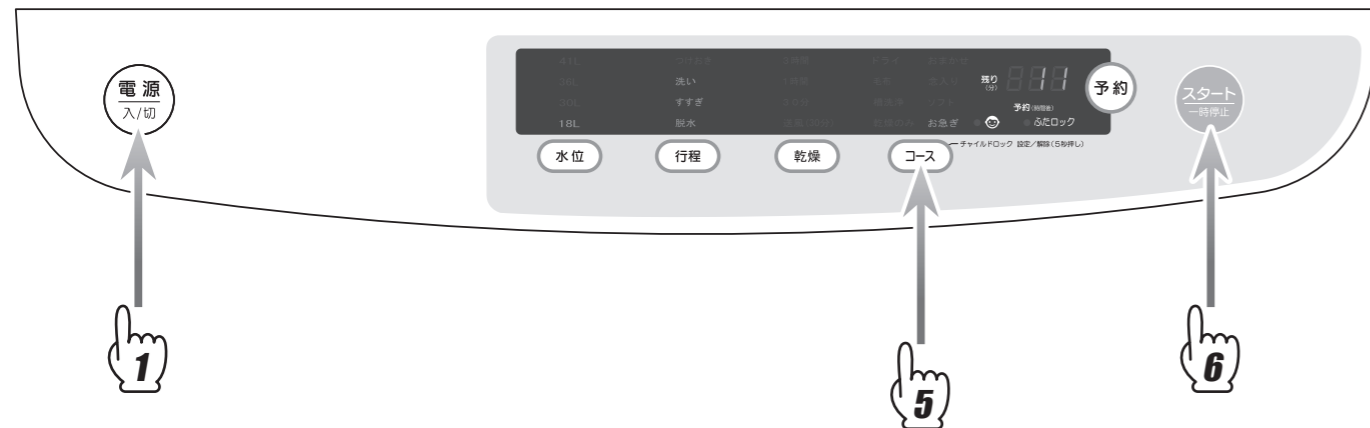
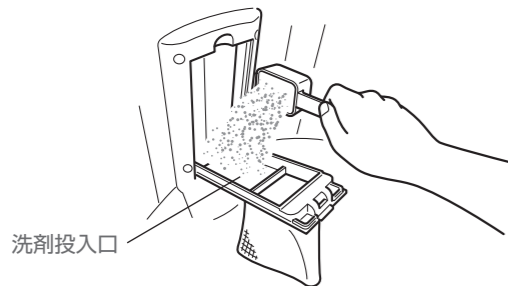
7 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。
- 万一の水もれを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

お急ぎコース　洗濯容量　～1.0kgまで

1 水栓を開き、(電源 入/切)を押す

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる P9参照

3 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

4 洗濯物を入れる

5 (コース)を押して『お急ぎ』を選ぶ

6 ふたを閉め を押す

- 運転を開始します。

7 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水もれを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

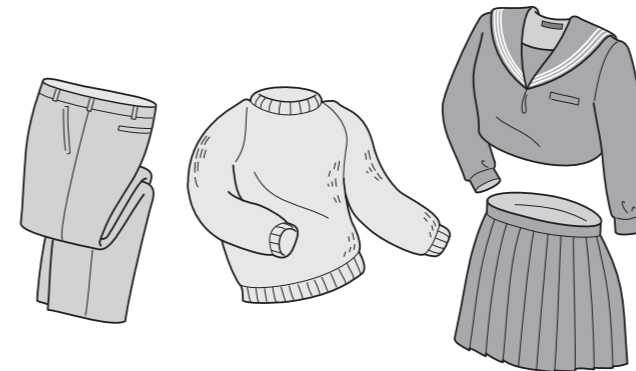
- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

ドライコース　洗濯容量 ～1.0kgまで

ドライコースは多めの水量でデリケートな衣類やドライマーク衣類をやさしく洗うコースです。

洗濯できるもの

(手洗イ30)や(ドライ)表示のあるもの

- 学生服、セーラー服
- スラックス、スカート
- ブラウス、シャツ、ランジェリー（絹、麻）
- セーター、カーディガン（ウール、アンゴラ、カシミヤ）

洗濯できないもの

- 皮革製品、皮革装飾のあるもの
- 羽、毛皮などの装飾のあるもの
- 絹、レーヨン、キュプラおよびその混紡品（裏地として使用しているものも不可）
- スーツ、コート、ネクタイなどの型くずれしやすいもの
- コーティング加工、樹脂加工（接着剤を使用したもの）、エンボス加工を施したもの
- ちりめんなどの強くよじった糸（強撚系）を使用したもの
- ベルベットなどのパイル地、別珍など
- 防水加工品（スキーウエアなど）
- 色落ちしやすいもの
- 取扱い絵表示および素材表示のないもの

洗剤について

(ドライ)表示の衣類

- ドライマーク衣類専用の液体洗剤を使用してください。

(手洗イ30)表示のある衣類

- ドライマーク衣類専用の液体洗剤以外に液体中性洗剤も使用できます。

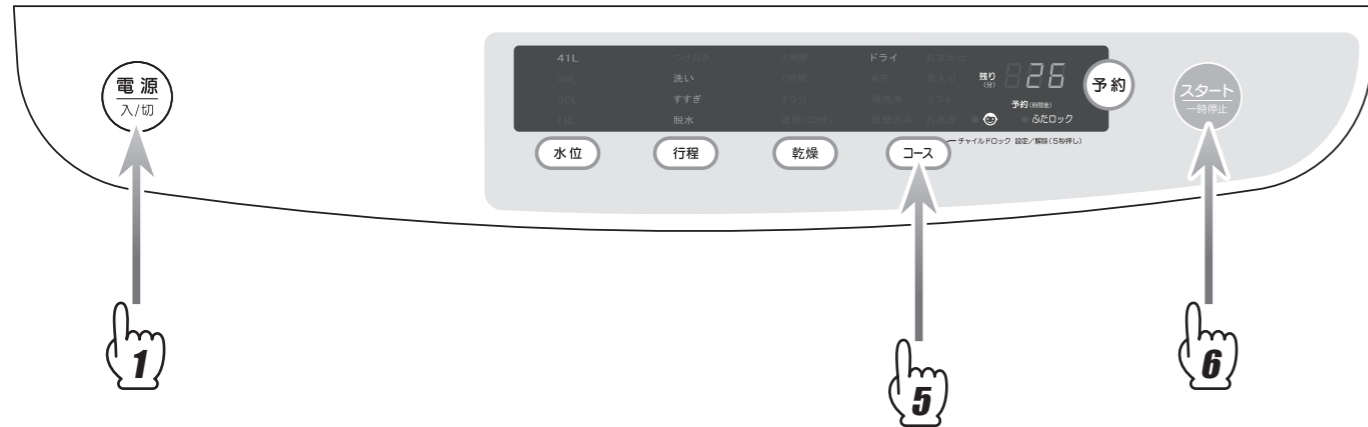
ご注意

漂白剤は使用しないでください。

- 漂白剤は、強アルカリ性のため衣類を傷めます。

洗濯前の準備

- シミがあるときは裏側にタオルをあて洗剤をつけてタオルなどで軽く押さえます。
- 汚れやすいえり、袖口などは洗剤をつけてブラシなどで軽くたたいて落としておきます。
- ボタンやししゅうの付いている衣類は裏返します。
- ボタンやファスナーは閉めてください。
- 色落ちしそうな衣類は、白いタオルなどに洗剤を含ませ、目立たないところに押し当てて確認してください。色落ちするものは洗わないでください。

ドライコース つづき

1 水栓を開き、電源入/切を押す

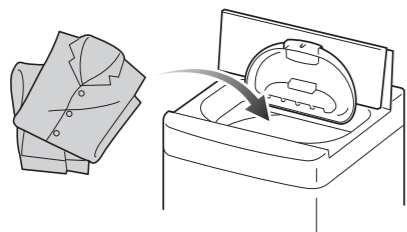
2 ふたを開け、洗剤投入口の奥の穴にドライマーク衣類専用の液体洗剤を入れる P9参照

- 表示の衣類を洗濯する場合は、必ずドライマーク衣類専用の液体洗剤をご使用ください。

3 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、**洗濯・脱水槽を右に回して**入れやすい場所に移動させてください。P9参照

4 洗濯物を入れる

- 洗濯物はたたんで入れてください。
- 布傷みが気になる場合は、市販の目の粗い洗濯ネットに入れてください。

5 コースを押して『ドライ』を選ぶ

6 ふたを閉め を押す

- 運転を開始します。

7 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。
- 万一の水もれを防止するためです。

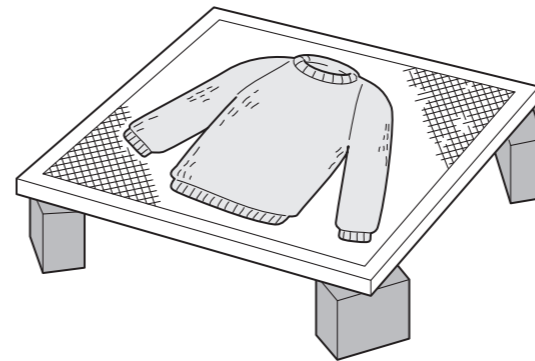
洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

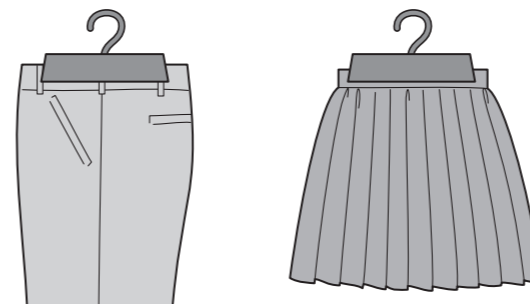
干しかた ※必ず、風通しの良い日陰に干してください。

ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーター

- 形を整えて裏返し、平干しをしてください。

スラックス、スカート

- 形を整えて、ハンガー干しをしてください。伸びやすいものは平干しをしてください。

学生服、ブラウスなど

- 形を整えて、ハンガー干しをしてください。
- ハンガーにタオルを巻いて、肩幅にあわせてお使いいただくと型くずれしにくくなります。

お願い

衣類乾燥機を使用する場合は、おしゃれ着乾燥のできるものをご使用ください。

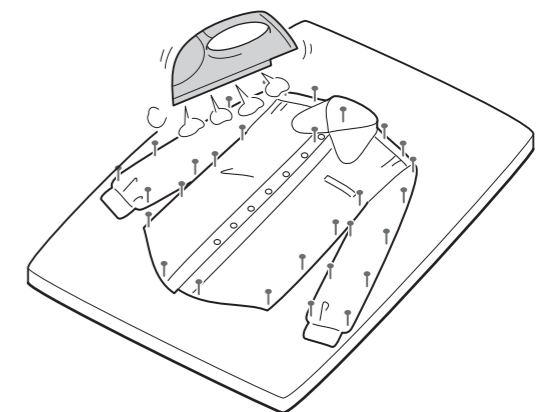
仕上げかた

スチームアイロンで形を整える

- スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをかけ、形を整えます。

縮んでしまったときは…

- 衣類を伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打ち、スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをたっぷりかけ、そのままの状態で乾燥させます。

※洗濯前に型紙を取っておくと便利です。

毛布コース

洗濯容量　毛布 ～2.6kgまで　綿毛布 ～1.5kg以下のもの3枚まで
夏掛けふとん ～1.4kgまで　羽掛けふとん ～1.8kgまで

毛布、夏掛けふとん、シーツ、カーテンなど大物を洗うことができます。

■洗濯できる毛布

40 手洗イ30 表示のある綿毛布およびアクリル、またはポリエステル100%のマイヤー･タフト毛布

- 綿毛布
  大きさ……140cm×200cm以下
  質量………1.5kg以下のもの3枚
- マイヤー･タフト毛布
  大きさ……140cm×200cm以下
  質量………2.6kg以下のもの

ご注意

電気毛布は、洗わないでください。
- 洗える電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従ってください。

■洗濯できる夏掛けふとん

40 手洗イ30 表示のある中わたがポリエステル100%のもの

大きさ……140cm×190cm以下
質量………0.7kg以下のもの
総質量……1.4kg以下のもの

■洗濯できる羽掛けふとん

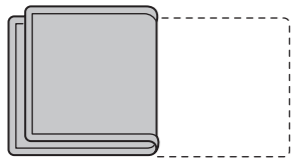
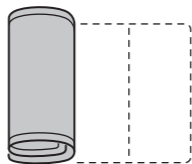
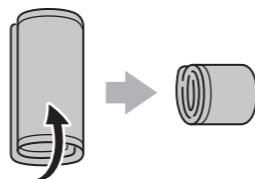
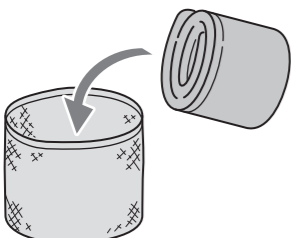
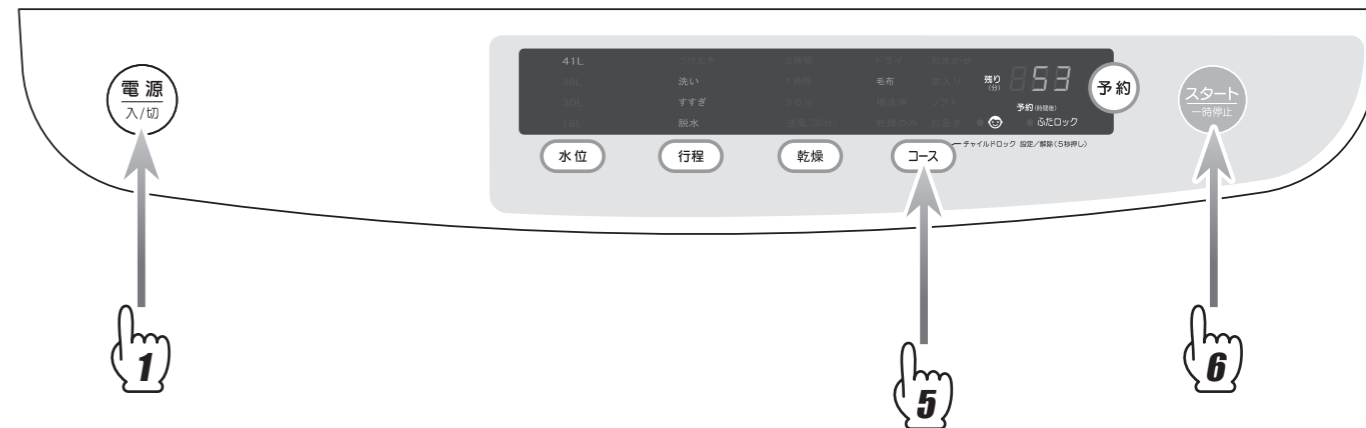
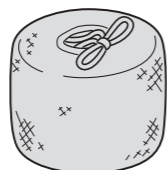
40 手洗イ30 表示のあるもので、洗濯機で洗えると記載のあるもの

大きさ……150cm×210cm以下
質量………1.8kg以下のもの

準備　洗濯物や洗濯機を傷めないために正しく準備してください。

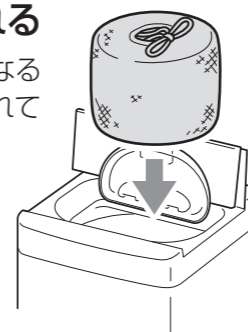
❶ 長い方を2つ折りにする
- 綿毛布を2枚以上入れる場合は、重ねて折りたたんでください。

❷ さらに同じ方向に、3つ折りにする

❸ 巻く

❹ フチのある方を下にして、洗濯ネット（市販品）に入れる

❺ 洗濯ネットのひもを固く結びリボン結びにする
- リボン部は洗濯ネットと毛布の間にはさみ込んでください。

1 水栓を開き、電源入/切を押す

2 ふたを開け、洗剤投入口の奥の穴に液体洗剤を入れる P9参照
- 洗剤は入れすぎないようにしましょう。
  入れすぎると泡が立ちすぎたり、すすぎが不十分になります。

3 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる
- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯･脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

4 準備した毛布を入れる
- 洗濯ネットの口側が上になるように、洗濯･脱水槽に入れてください。

5 コースを押して『毛布』を選ぶ

6 ふたを閉め スタート一時停止 を押す

- 運転を開始します。

7 運転終了
- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。
- 必ず、糸くずフィルターを掃除してください。

お願い

毛布やシーツなど大物を洗う場合は、必ず市販のネットに入れてください。 また、毛足の長さや生地の厚みにより、ネットに入らない場合は洗濯できません。
- ネットに入れずに洗濯すると、洗濯物が洗濯･脱水槽から飛び出したり、脱水中に異常振動し、洗濯機･壁･床などの破損、衣類の損傷などのおそれがあります。

一言メモ　毛布洗いのポイント
- 毛布のフチなど汚れのひどい部分は、あらかじめ手でもみ洗いをしましょう。
- 洗剤を入れすぎないようにしましょう。
- 水温が低いときは、ぬるま湯（約30℃）で洗うと汚れ落ちがよくなります。

乾燥のしかた

乾燥のポイント

● タイマー式脱水ですので、乾きぐあいに関係なく終了します。衣類の量･種類･気温･湿度･季節･据え付け場所により乾きぐあいが異なることがあります。

⚠ 警告

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ガソリン、ベンジンやシンナー、アルコールなどの付着した衣類は洗濯後でも絶対に乾燥しない

油の酸化熱による、自然発火や引火のおそれがあります。

引火物を洗濯･脱水槽に入れない

洗濯･脱水槽には絶対に、灯油･ガソリン･ベンジン･シンナー･アルコールなどや、それらの付着した洗濯物を入れたり、近付けたりしないでください。爆発や火災のおそれがあります。

⚠ 注意

マット類は脱水しない

マットが洗濯･脱水槽に付着したり、衣類を汚すことがあります。また、素材によっては化学変化により自然発火するおそれがあります。

防水性のマット･シートや衣類、水を通しにくい繊維製品は、洗い･すすぎ･脱水･風乾燥をしない

洗濯物が飛び出したり、異常振動で洗濯機が転倒してけがをしたり、洗濯機･かべ･床などの破損、衣類の損傷などのおそれがあります。洗濯物の絵表示を見て洗濯時の参考にしてください。

※足拭きマットなど固くて厚いもの、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、スキーウエア、自転車･バイク･自動車カバー、寝袋など

乾燥してはいけないもの

ウールの衣類

● 縮んだり、毛が抜けることがあります。

皮、絹の衣類

● 縮んだり、型くずれをおこすことがあります。

のりづけした衣類

● のりづけしたい場合は、乾燥後にスプレーのりをご使用ください。

ざぶとんや枕、わたや発泡ウレタン（スポンジ類）が入った衣類

● 傷んだり、自然発火や故障の原因になります。

吊り干し、平干し、ドライなどの絵表示があるもの

「タンブラー乾燥はおさけください」と表示があるもの

● タンブラー乾燥とは回転ドラム式で衣類を乾燥することです。（本機もタンブラー乾燥に該当します。）

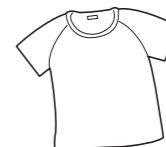
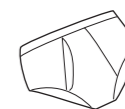
お願い

乾燥前に衣類の材質表示をよく確認してください。

● 綿、麻、化繊などは生地の織り方によって縮みやすいものがあります。吊り干しをしてから仕上げのみで乾燥機能を使うなど、上手にご活用ください。

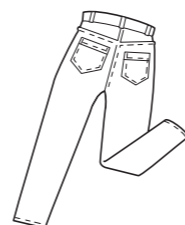
乾燥でシワになりにくいもの

タオル類

靴下

肌着

ブリーフ

● これらの衣類に似たようなもので乾燥運転でシワになりにくいものもあります。ご確認ください。

乾燥でシワになりやすいもの

● 同種の衣類でも、生地や織り方などによりシワの程度は異なります。

ジーンズ　パジャマ

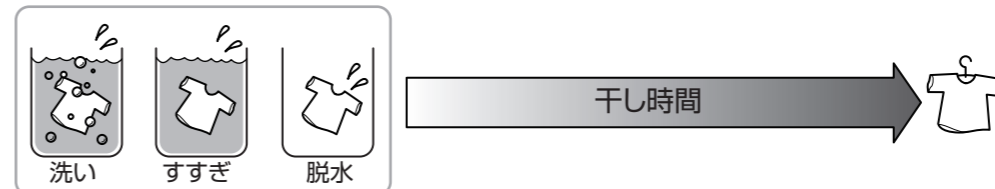
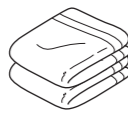
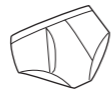
Yシャツ/ブラウス

Tシャツ

ランジェリー

シーツ

これらのシワになりやすい衣類は完全に乾燥させずに、乾燥時間を短めにしましょう。
生乾きの状態で『つり干し』にすることで干し時間を短縮することができます。

■普通の洗濯

■乾燥で生乾きにした場合

乾燥時間の例

ジーンズ	約1時間
ワイシャツ2枚	約30分

乾燥容量と乾燥時間の目安

乾燥容量と乾燥時間	衣類の種類	（　）内は1枚あたりの重さの目安です。洗濯物の種類や厚さによって重さは変わります。
約0.5kg（約1.5時間）	タオル　×2枚（綿100%　約70g）　ブリーフ　×2枚（綿100%　約50g）　肌着（半袖）　×2枚（綿100%　約130g）	
約1.5kg（約3時間）	Yシャツ　×1枚（混紡　約200g）　くつ下　×4足（綿100%　約50g）　バスタオル　×2枚（綿100%　約300g）	
約2.5kg（約4.5時間）	ブラウス　×1枚（混紡　約200g）　作業着　上・下（混紡　約800g）	

- 乾燥量は日本電機工業会（JEMA）基準の衣類です。
- 乾燥時間は、衣類の組み合わせ・室温・脱水の状態などにより変わります。

上手な乾燥のしかた

洗濯物は少なめで乾燥させる

- 標準乾燥容量（2.5kg）の7割～8割程度で乾燥してください。風の通りがよくなり、効率よく乾燥することができます。

1枚ずつ、よくほぐしてから入れる

- 乾きムラが少なくなります。

"パン、パン"

ひもは結び、ファスナーやボタンなどは閉じて裏返す

- 布傷み、布がらみ、洗濯・脱水槽内の傷を防ぎます。

厚物と薄物は分けて乾燥する

- 乾きムラが少なくなります。

傷みやすい衣類は、市販のネットを利用する

- 薄い化繊やレース、ストッキングやホック付きのブラジャーなどの衣類は、市販のネットに入れると布傷みを少なくできます。

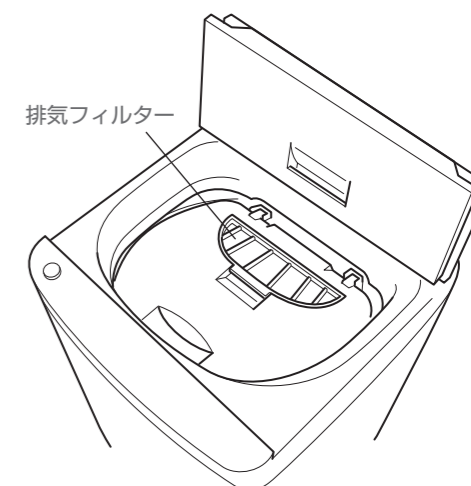
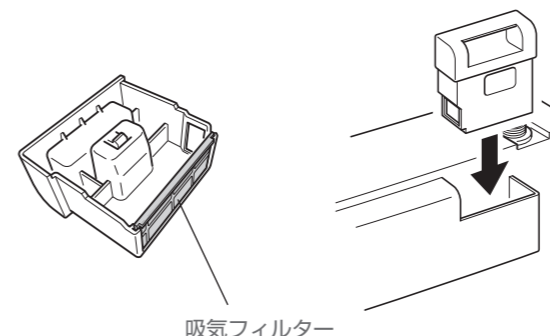
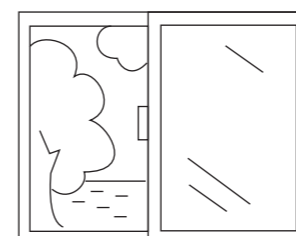
静電気を少なくするには･･･

- 洗濯のときにソフト仕上げ剤を使うと、静電気が起こりにくくなります。

乾燥前の準備

準備

■ 吸気フィルター/排気フィルターの確認

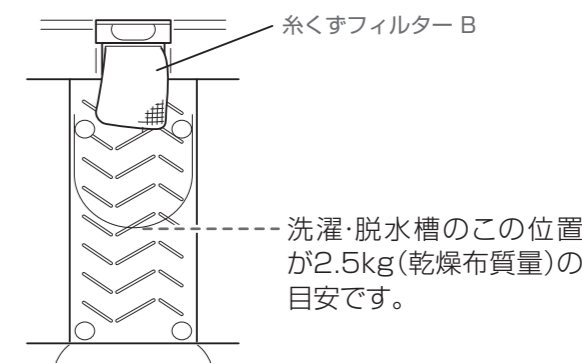
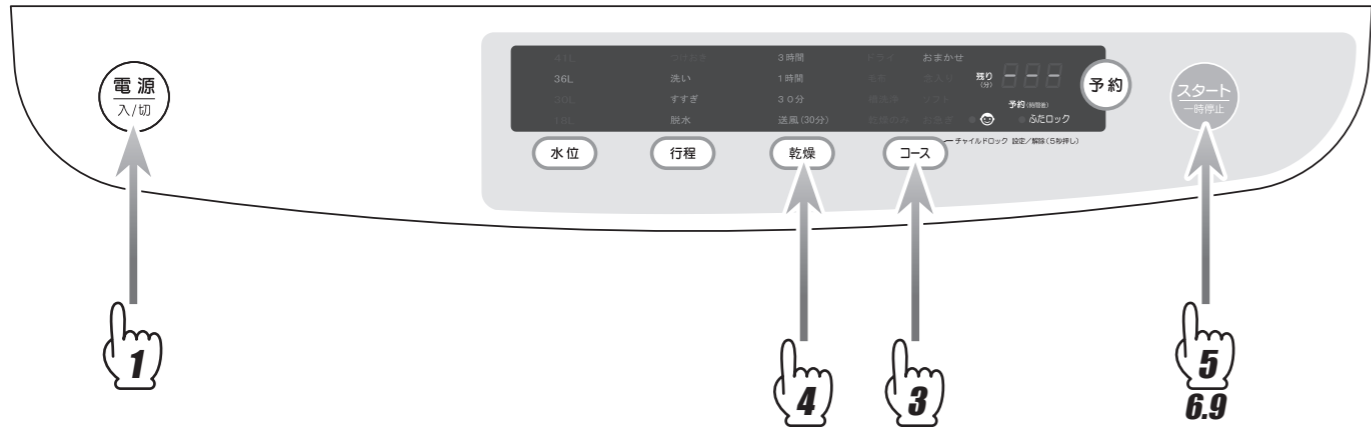
- フィルターは必ずセットしてください。

■ 換気をしましょう

※換気が不十分な場合、乾燥性能の低下や、窓・壁・床など結露することがあります。

※アースの接続も忘れずに確認しましょう。P35参照

衣類の目安

衣類は2.5kg以下で乾燥させましょう。

※衣類を入れすぎると、乾きムラ、シワの原因になります。

乾燥のしかた（つづき）

おまかせコース+乾燥 洗濯容量 ～2.5kgまで

1 水栓を開き、（電源 入/切）を押す

2 ふたを開け、洗濯物を入れる

3 （コース）を押して「おまかせ」コースを選ぶ

- 乾燥が追加できるコースは、「おまかせ」コースのみです。

4 （乾燥）を押してお好みの乾燥時間を選ぶ P26参照

5 ふたを閉め を押す

- 運転を開始します。
- 布量を自動検知して、水位（洗剤量の目安）と残り時間を表示します。

6 水位が表示されたら

 を押して一時停止する

7 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる P9参照

8 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

9 ふたを閉め を押す

- 運転を再開（開始）します。

10 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

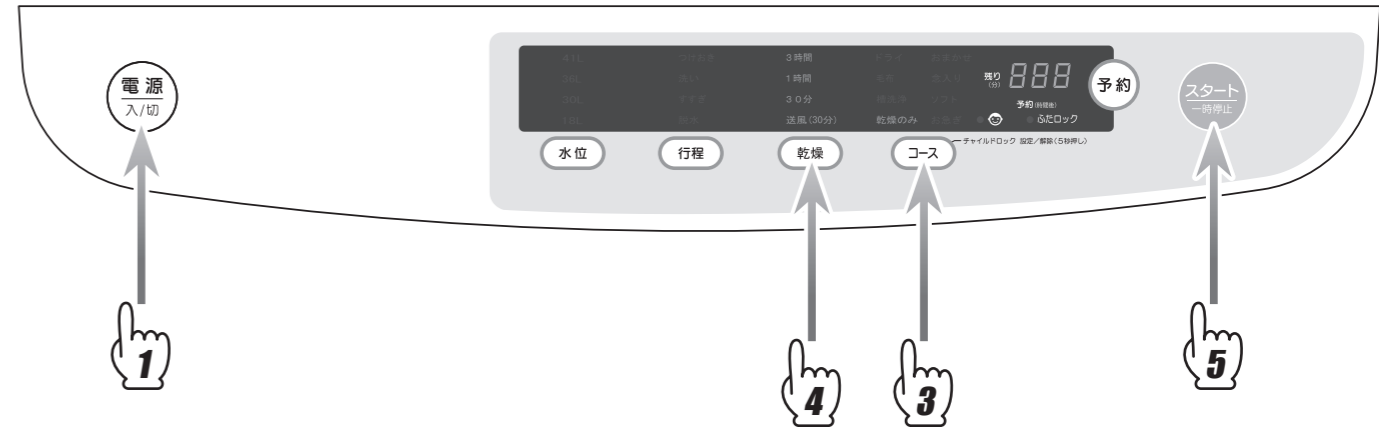
お願い

洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水もれを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

乾燥のみコース 乾燥容量 ～2.5kgまで

1 （電源 入/切）を押す

- 水栓を開く必要はありません。

2 ふたを開け、衣類を入れる

- 衣類は十分に脱水したものを、良くほぐし、1枚ずつ片寄らないように入れてください。

3 （コース）を押して『乾燥のみ』を選ぶ

4 （乾燥）を押してお好みの時間を選ぶ

乾燥時間の目安

乾燥容量	設定時間
約0.5kg	1.5時間
約1.5kg	3.0時間
約2.5kg	4.5時間

※表は目安です。乾燥時間は、衣類の組み合わせ・室温・脱水の状態などにより変わります。

5 ふたを閉め を押す

- 運転を開始します。

6 運転終了

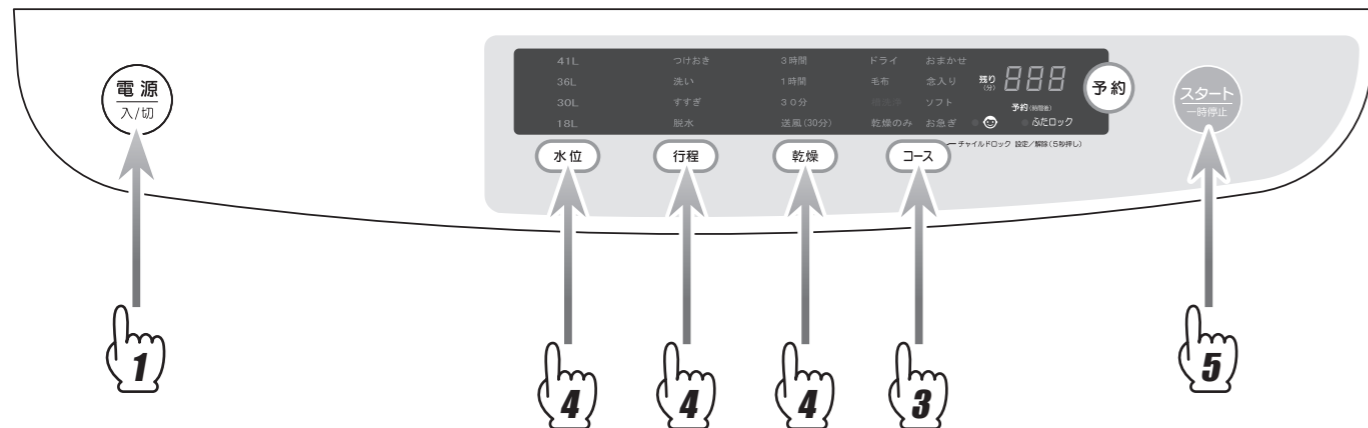
- 運転の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

タイマー式乾燥ですので、乾き具合に関係なく終了します。衣類の量・種類・気温・湿度・季節・据え付け場所により乾き具合が異なることがあります。

- 乾きが足りないときは、もう一度運転してください。

個別洗濯

内容を個別に設定して洗濯したい

1 水栓を開き、(電源 入/切)を押す

2 ふたを開け、洗剤・洗濯物を入れる
P9参照

3 (コース)を押してコースを選ぶ

4 (水位)(行程)(乾燥)を押して、
内容・時間を設定する

- コースにより設定できる内容が異なります。右の表を参考に、設定してください。

5 ふたを閉め(スタート 一時停止)を押す

- 運転を開始します。

6 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

■各コースで設定・選択できる機能　(○=可、×=不可)

コース	水位	乾燥	予約	つけおき	洗い	すすぎ	脱水	高濃度洗浄
	設定可否			選択可否				
おまかせ	○	○	○	○	○	○	○	○
念入り	○	×	○	○	○	○	○	×
ソフト	○	×	○	×	○	○	○	×
お急ぎ	×	×	○	×	×	×	×	×
ドライ	×	×	○	×	×	×	×	×
毛　布	×	×	○	×	×	×	×	×
槽洗浄	×	×	×	×	×	×	×	×
乾燥のみ	×	○	×	×	×	×	×	×

- 槽洗浄コースで衣類は洗えません。
- 操作パネル部(各部の名称)も合わせてご覧ください。P5･6参照
- 高濃度洗浄は設定・選択できません。
  高濃度洗浄:高濃度洗浄液から洗い始め、繊維のすみずみまで洗剤を浸透させ、汚れを芯から引き剥がします。
- **つけおき**:汚れの多いものを洗い行程前につけおき(30分間)することで、洗剤液が衣類にしみ込み、洗剤効果を上げます。
  ※数分おきにパルセーターを回して洗剤液を万遍なく衣類に浸透させます。
  ※傷みやすい化繊・ウール・絹や色落ちしやすい衣類は使用しないでください。

お願い

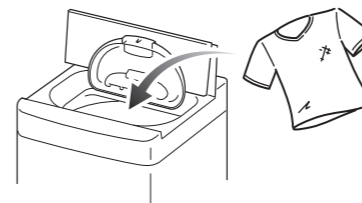
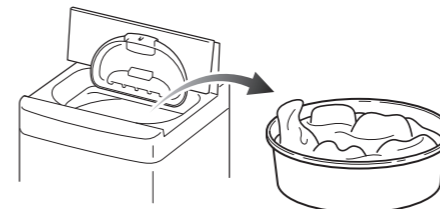
洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。
- 万一の水もれを防止するためです。

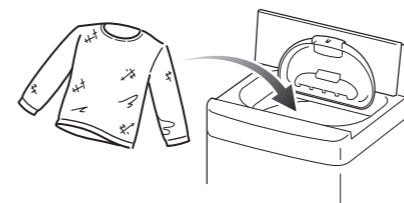
洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

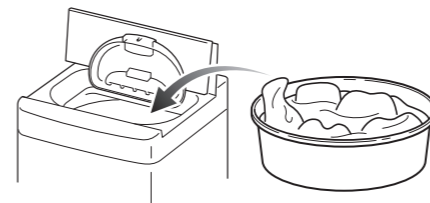
上手なお洗濯

洗濯液を2度使う

1 1度目の洗濯物を入れて、『洗い』のみの運転を行う P27参照

- 1度目の洗濯物は汚れの少ないものを洗い、汚れのひどいものは2度目に洗いましょう。

2 1度目の洗濯物を一時的に取り出す

3 そのまま2度目の洗濯物を入れ、お好みのコースで運転する
P11〜27参照

- 洗濯物が浮かないように、上から押さえてください。
- 必要に応じて、洗剤を追加してください。

4 お好みのコース運転終了後、2度目の洗濯物を取り出す(2度目の洗濯終了)

5 再び1度目の洗濯物を入れ「すすぎ」「脱水」のみの運転を行う P27参照
(1度目の洗濯終了)

風呂の残り湯を使う

1 電源を入れ、洗濯物を入れる

2 コース・行程を選択し P11〜27参照

3 給水が始まったら一時停止し、風呂の残り湯を入れる

- 市販の風呂水用ポンプをお使いいただくと、便利です。

4 ふたを閉めスタートボタンを押して運転を再開する

のりづけ　のりづけできる量:0.5kg以下

1 電源を入れ、のりづけしたい衣類を入れる

2 おまかせコースにて、「洗い」のみ「水位18L」に設定する P27参照

3 スタートボタンを押して運転(給水)する

4 洗濯が始まりパルセーターが回り始めたら一時停止し、洗濯のりを入れる

- のりの量は、洗濯のりに表示されている分量を目安にしてください。

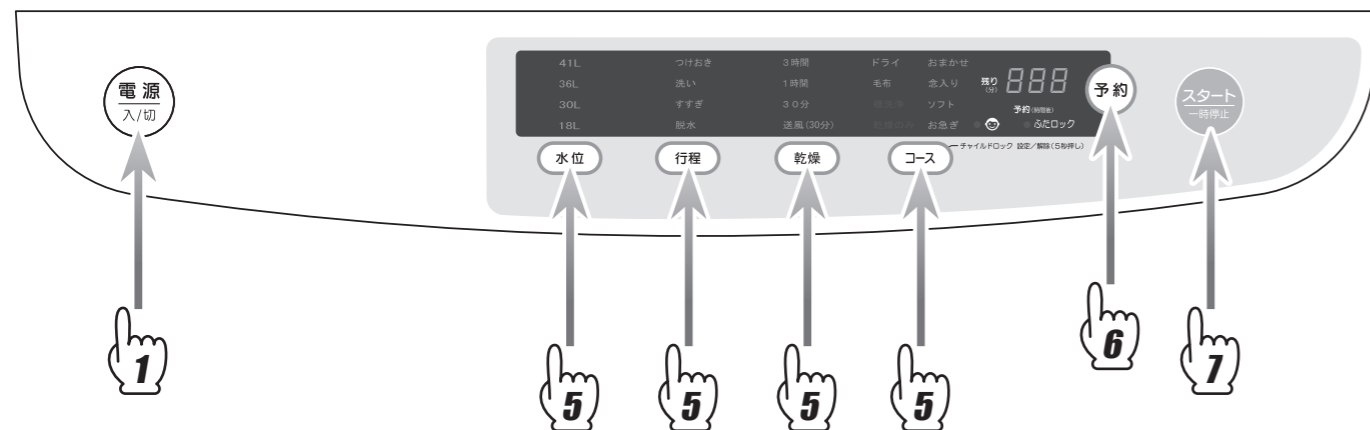
5 ふたを閉めスタートボタンを押して運転を再開する

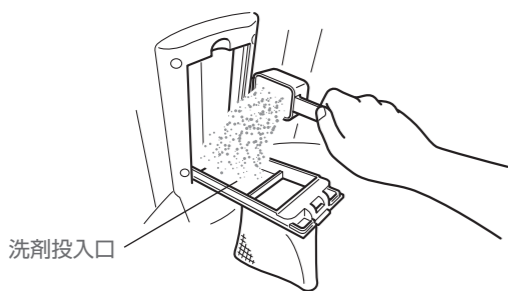
6 「洗い」のみ終了後、「脱水」のみを設定しスタートボタンを押して運転する

お願い

のりづけ後は、『水位41L』にて「洗い」のみおよび「脱水」のみの運転を行い洗濯・脱水槽を洗浄してください。
- のりが残っていると、故障の原因になります。

予約洗濯

予約タイマー運転

1 水栓を開き、(電源 入/切)を押す

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる P9参照

3 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9参照

4 洗濯物を入れる

5 コース・行程を設定する
P11〜27参照

6 (予約)を押して、洗濯終了時間をセットする

- 押すごとに1時間単位で、2〜24時間後までの設定ができます。

7 ふたを閉め を押す

- 予約タイマー運転が開始され、" . "が点滅し、設定したコース・行程が消灯します。

例）7時間後にセットした場合

8 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

ご注意
槽洗浄・乾燥のみコースは、予約タイマーの設定はできません。

洗濯終了までの時間を、2〜24時間後の範囲でセットできます。
睡眠前に予約タイマーをセットしておけば、朝の忙しい時間を有効に活用することができます。

予約タイマーの時間設定について

(予約)を押すごとに1時間単位で、2〜24時間後までの設定ができます。

セットした内容を…

確認するには?
- 予約タイマー運転中に『予約』ボタンを押します。約5秒間セットしたコース･行程が表示されます。

取り消すには?
- 『電源』ボタンを押して、電源を切ってください。

変更するには?
- 電源を入れ直して、もう一度セットし直してください。

お願い

色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。

電源プラグを抜いたときや停電したときは、予約タイマー運転は取り消されます。

濃縮タイプの柔軟剤は、2倍の量の水で薄めてから使用してください。
また、柔軟剤を長時間（約12時間以上）入れたままにしないでください。
- 固まってしまうことがあります。

予約タイマー運転には、粉石けんを使わないでください。
- 溶けにくく、固まることがあります。

予約タイマー運転中にふたを開けるとエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。
- ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

知っていると便利

ふたロックについて

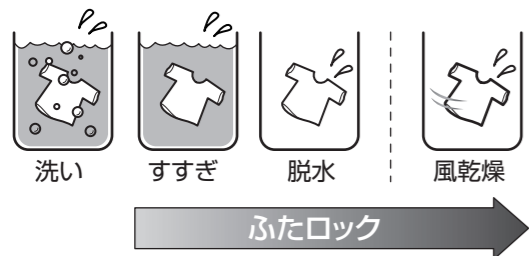
安全のためにすすぎ以降の行程では自動的にふたがロックされます。

ご注意

ふたロックのランプが点灯中は無理にふたを開けないでください。

- 破損・故障の原因になります。

ふたが開いた状態で脱水運転に入ると、エラー「E2」が表示され運転を停止します。

- ふたを閉めると、運転が再開されます

ふたロックを解除するには

運転中のとき

- （スタート）を押して一時停止させると、約10秒後にふたロックが解除されます。（ふたロックのランプが消灯したのを確認してからふたを開けてください。）

電源が入っていないとき

- 電源を入れるとふたロックが解除されます。（ふたロックがかかっているときに電源を切ったり、停電になると、ロックがかかったままになります。運転終了後に電源を切るときは、ふたロックのランプが消えたのを確認してから電源を切ってください。）

チャイルドロック

子供による誤動作や勝手にふたを開けてしまい洗濯・脱水槽内に閉じ込められるのを防ぐため、ふたにロックをかけると共にボタン操作をできないようにします。

1 （コース）を約5秒間押す

- "ピッピッピッ"と電子音が鳴り"CL"と表示されたのち、チャイルドロックのランプが点灯します。

2 コースを選択してから（スタート/一時停止）を押す

- ふたにロックがかかり、ふたロックランプが点灯し、電源の「入」「切」およびチャイルドロックの解除以外の操作が無効になります。

チャイルドロックを解除するには

- （コース）を約5秒間押すと、"ピッピッピッ"と電子音が鳴り、チャイルドロックが解除されます。

※チャイルドロックは解除するまで、電源を切っても解除されません。

※『おまかせ』コースの布量検知（ファジープログラム）を行う場合は、洗剤投入後に運転を開始してからチャイルドロックを設定して下さい。

終了音を消す

運転終了をお知らせする、終了ブザーを鳴らないように設定することができます。（初期設定は「終了ブザー音有り」）

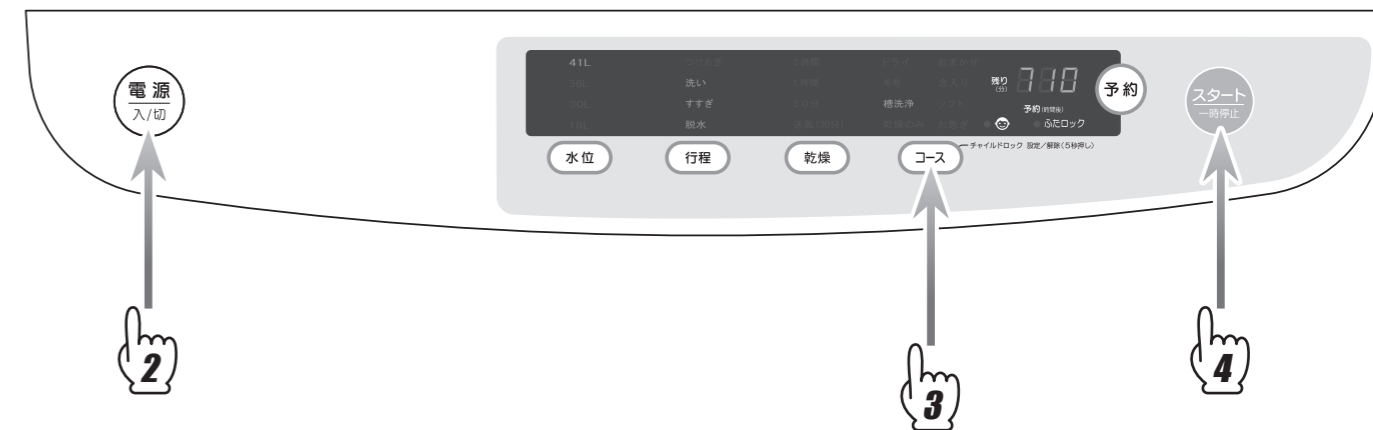
（スタート/一時停止）を約5秒間押し（ピッピッピッ）て運転を開始させると、終了ブザー音がならなくなります。

※運転終了後に、自動的に「終了ブザー音有り」に戻ります。「終了ブザー音無し」の設定は、都度行ってください。

※運転開始後に「終了ブザー音有り」を再度設定する場合は、一度電源を切って初めから洗濯設定をしてください。

お手入れ

洗濯・脱水槽を洗う（槽洗浄コース）

長期間の使用により洗濯・脱水槽に汚れや黒カビが発生することがあります。
2ヶ月に1度（粉石けんを使用している場合は、1ヶ月に1度）を目安に槽洗浄を行ってください。

1 水栓を開く

2 （電源 入/切）を押す

3 （コース）を押して、『槽洗浄』を選ぶ

4 （スタート/一時停止）を押す

- 運転を開始します。

5 パルセーターが回り始めたら市販の塩素系漂白剤を約200ml入れる

- 通常の洗濯洗剤は使用しないでください。洗浄効果がありません。
- 衣類は入れないでください。
- ふたは必ず閉めてください。

6 運転終了

- 槽洗浄の終了をブザーでお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

連続して槽洗浄運転を行わないでください。

汚れのひどい場合や黒カビが発生してしまった場合は、市販の洗濯槽クリーナーをご使用ください。

- 洗濯槽クリーナーの説明書に従ってご使用ください。

ステンレス槽のさびは…

市販のクリームクレンザーをスポンジにつけて、さびを取り除いてください。

- 金属たわしなどは使用しないでください。洗濯・脱水槽を傷つけ、さびやすくなります。

さびの発生を防ぐために…

- ヘアピンなどのさびやすい鉄製品を洗濯・脱水槽に入れたままにしない。
- 赤さびや鉄粉などの混じった水を入れない。特に、断水後はご注意ください。

お手入れのしかた

揮発性のものは使わない

揮発性のもの（シンナー・ベンジン・ガソリンなど）を使用すると、変形や割れが発生することがあります。

⚠警告

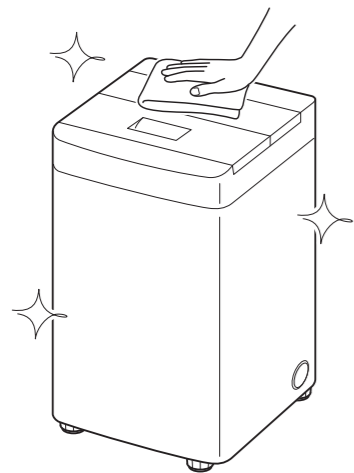
安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。

感電するおそれがあります。

本体

よく絞ったやわらかい布で拭く

- 汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取ってください。中性洗剤を使用した後はよく水拭きをし、さらに乾いた布で拭いてください。

水ぬれ禁止

直接水をかけて掃除することは、絶対にしないでください。

- ショート・感電のおそれがあります。

ご注意

化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書に従ってください。

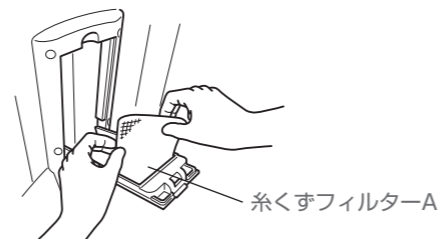
給水口

歯ブラシなどで汚れを取り除く

- 給水口にゴミがたまると水の出方が悪くなります。最低でも年に1度は、給水ホースを外し、給水口にたまったゴミを歯ブラシなどで取り除いてください。

糸くずフィルター

裏返してゴミを取り除く（糸くずフィルター A）

- 汚れが落ちにくい場合は、外して水洗いしてください。

外して水洗いする（糸くずフィルター B）

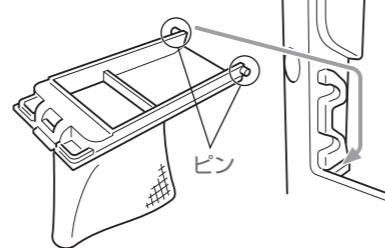
別売部品

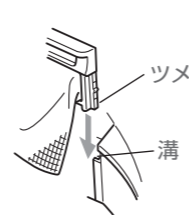
糸くずフィルター A（洗剤投入口付き）
希望小売価格　1個 630円（税込）

糸くずフィルター B（上部取付用）
希望小売価格　1個 630円（税込）

ご購入は、お買上げの販売店、または別紙お客様修理ご相談窓口記載の各修理相談窓口へお問い合わせください。

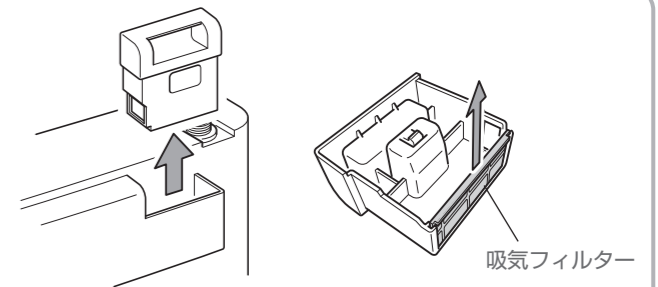
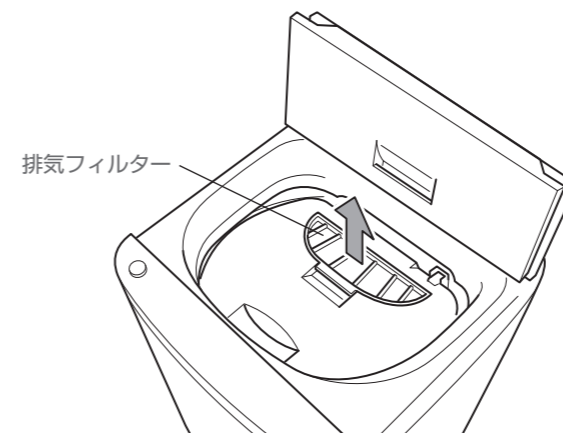
■ 糸くずフィルターの取り付け方法

糸くずフィルター A

矢印のように糸くずフィルターの左右のピンを差し込み、取り付けてください。（取り外しは逆の手順で行ってください。）

糸くずフィルター B

糸くずフィルターのツメを本体の溝に合わせて取り付けてください。

吸気フィルター/排気フィルター

外してホコリを取り除く

- 汚れのひどい場合は、水洗いしてください。

別売部品

吸気フィルター
希望小売価格　1個 210円（税込）

排気フィルター
希望小売価格　1個 630円（税込）

ご購入は、お買上げの販売店、または別紙お客様修理ご相談窓口記載の各修理相談窓口へお問い合わせください。

電源コード・プラグの安全点検

- 電源コードに亀裂や、すり傷がありませんか?
- 電源プラグがコンセントに根本まで確実に差し込まれていますか?
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか?
- 電源プラグの刃および刃の取付け面にホコリが付着していませんか?

凍結のおそれがあるときは

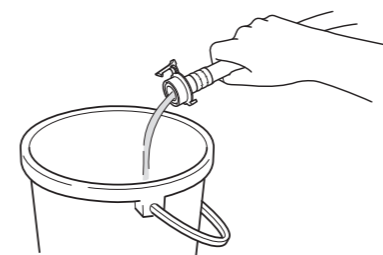
冬場、凍結させないために…

1 **水栓を閉める**

2 **『洗い』の運転を行い、給水ホースの水を抜く**

- 10秒程度運転してください。給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぐためです。

3 **『脱水』の運転を行い、洗濯・脱水槽の残水を排水する**

4 **給水ホースの水栓蛇口側を外して、ホース内の残水をバケツなどに排水する**

凍結してしまったときは…

1 **給水ホースの接続部（水栓側と本体側）に50℃未満の温水をかける**

- 床が濡れて困る場合は、蒸しタオルで包んでください。

2 **給水ホースを外し、50℃未満の温水につける**

- 水が飛び散る場合がありますので、タオルなどをあてて外してください。

3 **50℃未満の温水を約1L、洗濯・脱水槽に入れ、10分間放置する**

4 **給水ホースを接続し、水栓を開けて運転し、給水と排水できるか確認する**

据え付け

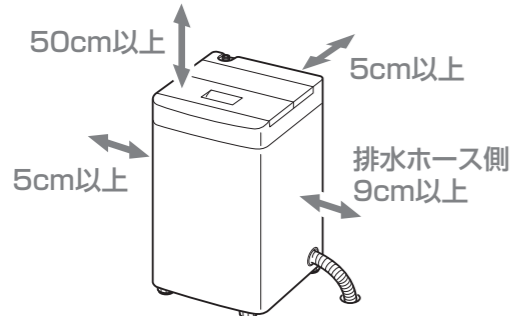
お願い

- 据え付け前は、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 給水ホース、マジックつぎ手は、必ず付属品または当社専用のものを使用してください。
- 据え付け後は、必ず試運転を行い、水漏れや異常音が発生しないか確認してください。

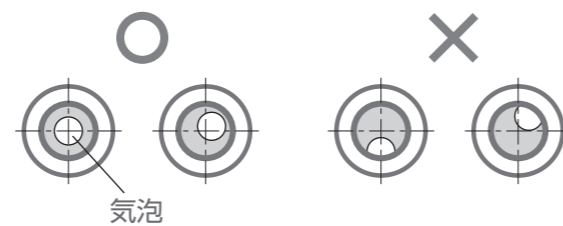
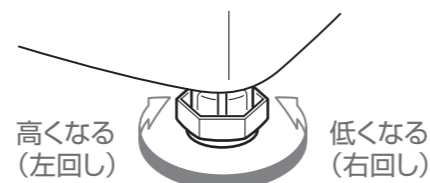
据え付けについて

据え付け場所

- 床が丈夫で水平なところ
- 湿気の少ないところ
  浴室には絶対に据え付けないでください。
- 冬期に凍結のおそれのないところ
- 雨、直射日光のあたらないところ
- 換気の良いところ
  換気扇や窓のないところでは、乾燥時に壁や床が結露するおそれがあります。

収納(組込)して設置する場合は、下記寸法以上離してください。(消防法により定められています。)

※上記条件を満たしていても、クローゼット(収納庫)など周囲が囲まれたところには設置しないでください。

水平に設置

1 水平基準窓を真上から見て、水平度を確認する

2 水平でないときは、前脚2ヶ所の高さ調整脚を回して調整する

3 洗濯機の対角を押さえて、がたつきがないか確認する

アースについて

⚠警告

必ず、アースをしてください
故障や漏電のとき、感電するおそれがあります。

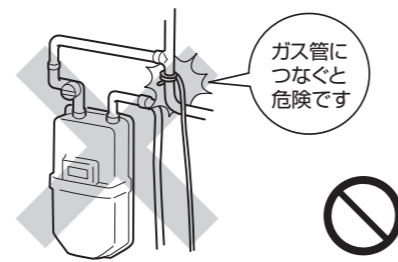
■アース工事について

- 安全にご使用いただくため、D種(第3種)接地工事が必要です。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。(接地工事は電気工事士の資格が必要です。)

■コンセントに
アース端子があるとき

アースの先端を確実に
アース端子に接続してください。

次の場所には、アース線を接続しないでください。

- ガス管……爆発や引火の危険性があります。
- 水道管……プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
- 避雷針・電話のアース線
  ……落雷のときに大電流が流れ危険です。

排水ホース

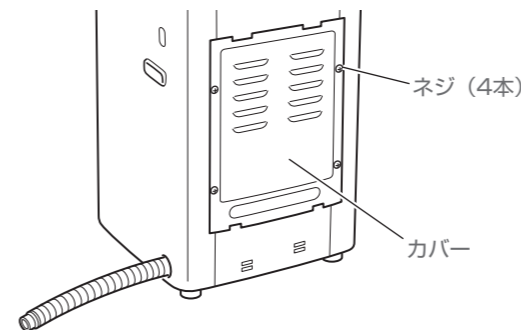
付け換え

⚠警告

排水ホースの付け換えは、必ず手袋をする
けがをするおそれがあります。

- 工場出荷時は排水ホースが右側にセットされています。
  左側に付け換える場合は、下記手順で付け換えてください。

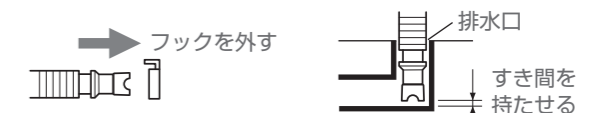
1 背面についているネジ4本を外してカバーを取り外し、ホースカバーを外す

- 鉄板で手を切らないように、注意してください。

2 ホースバンドを左側に付け換え、側面にある穴から排水ホースを引き出す

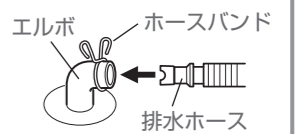
- ホースバンドは内側からつまむようにして外します。
- 付け換え後は必ずホースバンドで固定してください。

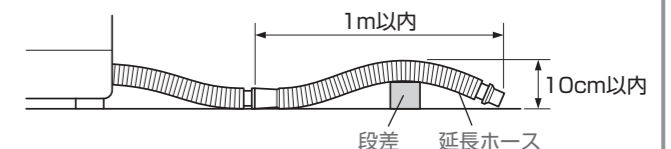
排水口に差し込む

排水ホース先端のフックを外し、排水口に差し込む

- 排水スリーブは排水ホースの先端がふさがれて排水が悪くならないように、すき間を持たせるためのものです。必ず取り付けてご使用ください。

※排水ホースは排水時の水の力や振動などで動くことがあるため、排水口にしっかりと差し込み抜けないことを確認してください。

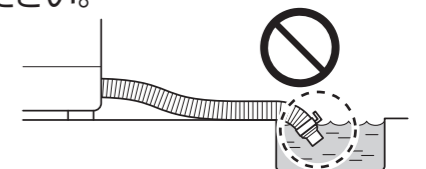
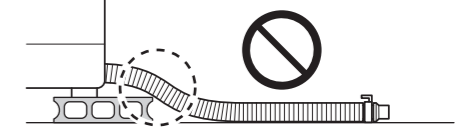
■排水口がエルボの場合

排水ホースの先端部をエルボにしっかりと差し込み、ホースバンドで確実に固定してください。

ホースを延長する場合

- お買い上げの販売店にて「排水ホース延長キット」をご購入ください。
- 排水ホースの長さ、敷居を越える場合の高さは下表に従ってください。

ホースの状態	ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	10cm以内	1m以内
途中で高くならない場合	–	3m以内

ご注意

ホースをつぶさないようにしてください。

ホースの先が下水口の水につからないようにしてください。

ホースのこすれに注意してください。

給水ホース

水栓について

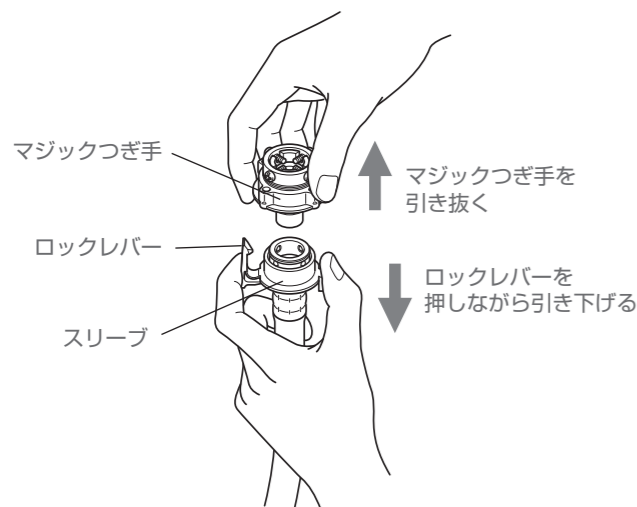
横水栓が適しています

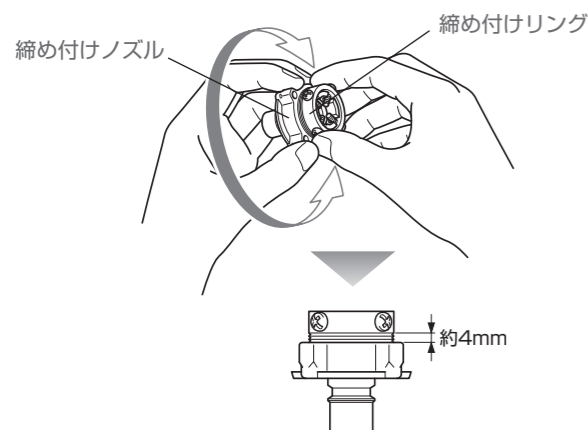
お願い

- 給湯機設備には取り付けないでください。
- 水栓が合わない場合は、販売店またはハイアールジャパンセールス株式会社へご相談ください。
- 洗濯機専用水栓の設置には、別売の「分岐水栓」の利用をおすすめします。

マジックつぎ手の取り付けかた

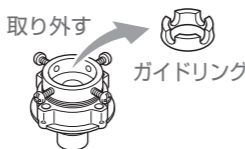
1 スリーブを引き下げて、マジックつぎ手を外す

- ロックレバーを押しながらスリーブを引き下げて、マジックつぎ手を外してください。

2 すき間を約4mmにする

- 締め付けノズルを回して、締め付けリングと締め付けノズルのすき間を**約4mm**にしてください。

3 ネジをゆるめ、蛇口に押し付ける

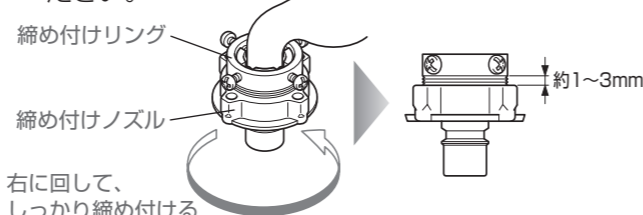
- マジックつぎ手のネジ（4本）をゆるめて、蛇口に垂直に押し付けてください。

蛇口の口径が、17mm以上の場合

- ネジ（4本）をいっぱいにゆるめて、ガイドリングを取り外してください。

4 ネジを均等に締め付ける

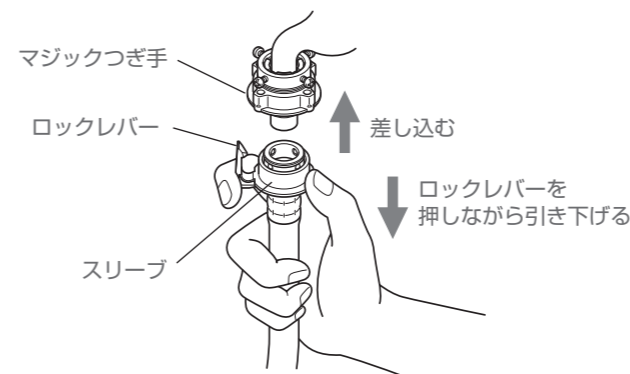
- 蛇口が中心になるように、ネジ（4本）を均等にしっかり締め付けてください。

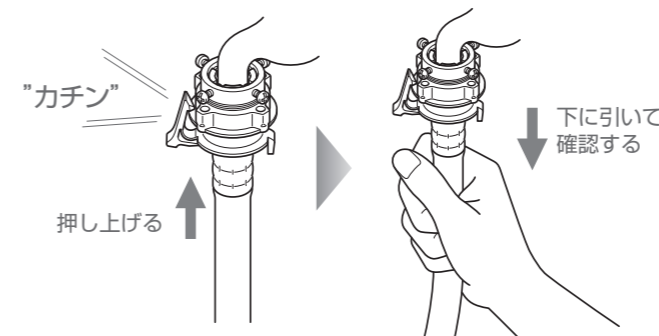
5 締め付けノズルを矢印の方向に回し、しっかり締め付ける

- 締め付け後、締め付けリングと締め付けノズルのすき間が**約1～3mm**になっていることを確認してください。

※締めつけることによってマジックつぎ手内のゴムパッキンと蛇口の先端が密着し、水漏れを防止します。

給水ホースの取り付けかた

1 スリーブを引き下げて、マジックつぎ手に差し込む

- ロックレバーを押しながらスリーブを引き下げて、マジックつぎ手に差し込んでください。

2 スリーブを離して"カチン"と音がするまで押し上げる

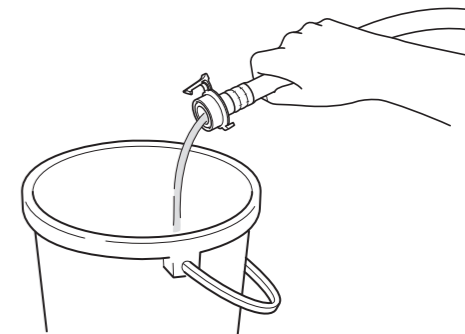
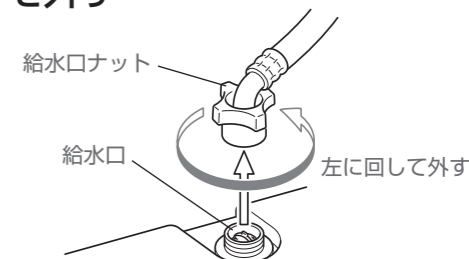
- 取り付け後、給水ホースを下に引いて、確実に取り付けられているか確認してください。

3 給水ナットを給水口にしっかり締め付ける

給水ホースの外しかた

1 水栓を閉める

2 『洗い』の運転を約10秒間行う

- 給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぐためです。

3 給水ホースの水栓（蛇口）側を外して、ホース内の水をバケツなどに排水する

4 給水ホースの給水ナット（本体側）を外す

給水ホースの延長は、別売の延長ホースをご使用ください。

お願い

- 取り付け後、必ず水漏れがないか確認してください。水漏れするときは、始めからやり直してください。
- 転居などによりマジックつぎ手を取り付け直す場合は、必ず、すき間を約4mmに調節してから（手順2）、取り付けてください。
- 長期間の使用により水漏れした場合は、もう一度始めから取り付け直してください。それでも不具合のある場合は、マジックつぎ手を交換してください。

故障かな?と思ったら

以下の点をお調べになり、それでも具合の悪いときは、お買上げの販売店にご相談してください。

こんなとき	エラー表示	おたしかめください(原因)
運転しない		● 電源プラグをコンセントにしっかりと差込んでいますか? ● 電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか? ● 停電ではありませんか? ● 電源スイッチを入れていますか? ● スタート/一時停止ボタンは押しましたか?
水もれ		● 水栓の形状は適していますか?(P.37) ● マジックつぎ手のネジやノズルがゆるんでいませんか?(P.37) ● 給水口ナットの締め付けがゆるんでいませんか?(P.38) ● 給水口にゴミが詰まっていませんか?(P.33) ● 排水ホースがはずれていませんか?(P.36)
異常音がする 振動が大きい		● 洗濯機の据え付けが傾いていたり、がたついたりしていませんか?(P.35) ● マッチ棒やヘアピン、金属物と一緒に洗っていませんか? ● 電源コードやアース線、給水ホースのたるみが洗濯機に当っていませんか? (脱水の振動で音が大きくなることがあります。) ● 中ぶたはしっかりと閉まっていますか? →カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
排水しない	E1	● 排水ホースを排水口に差し込んでいますか? ● 排水ホースがつぶれていませんか?(P.36) ● 排水の位置が高くなっていませんか?(P.36) ● 排水ホースの口がふさがれていませんか?(P.36) ● 排水ホースの先端が水につかっていませんか?(P.36)
途中で止まる	E2	● 上ぶたは閉まっていますか?(P.31) ● 予約タイマー運転時に、ふたを開けていませんか?(P.30)
脱水しない	E3	● 洗濯物が片寄っていませんか? ● 洗濯·脱水槽の排水口に異物が詰まっていませんか?
給水しない	E4	● 水栓を開いていますか? ● 給水ホース接続口の網にゴミなどが詰まっていませんか?(P.33) ● 凍結していませんか? ● 断水していませんか? ● 水道水圧が低くありませんか?
	FA	● 水位センサーに異常があります。
	F8	● ふたロック機能が正常に働いていません。 ● 上ぶたは完全に閉まっていますか?(P.4) ● ふたロック部にボタンや硬貨が詰まっていませんか?(P.4) ● 上ぶた側のロック部品が破損していませんか? ● 一度電源を切って、電源プラグを抜き差ししてください。

こんなとき	エラー表示	おたしかめください(原因)
乾燥運転後 シワがひどい		● 乾燥の設定時間を多めにしていませんか? ● 衣類をほぐして入れましたか?(乾燥のみ運転時)
乾きが悪い 乾きムラがある		● 衣類をほぐして入れましたか?(乾燥のみ運転時) ● 脱水は十分しましたか?(乾燥のみ運転時) ● 乾きやすいものと乾きにくいものを一緒に乾燥していませんか? ● 衣類の量が多すぎていませんか?(P.26) ● 乾燥時間の設定が短くありませんか? ● 洗濯機の周囲はすき間が空いていますか?(P.35) ● クローゼットなど周囲が囲まれた場所に設置していませんか?(P.35) ● 換気の十分な場所に設置していますか?(P.35) ● 吸気口がふさがれていませんか? ● 吸気フィルター/排気フィルターはお手入れしましたか?(P.34)
乾燥しない	EA	● 乾燥時に洗濯槽に水が残っていると、乾燥運転時に停止します。 →洗濯槽の残水を排水してください。
	Eb	● 衣類の容量が2.5kgを超えていると、乾燥運転時に停止します。 →衣類を2.5kg以下にしてください。(最大乾燥容量は2.5kgです)

下記のような場合は故障ではありませんので、ご注意ください。

初めて使用するときに排水ホースから水が出る	● 工場の性能テスト時の残水です。
操作パネル部にぬくもりを感じる	● 電源を「切」にしても、内部のマイコン部で数Wの電力を消費しているため、あたたかくなることがあります。
間欠的に脱水する	● 脱水を効果的に行うためのものです。
脱水の途中ですすぎになる	● 洗濯物が片寄っているためです。 給水して片寄りを修正し、再び脱水を行います。それでも片寄りが直らない場合は運転を停止します。
運転の途中で止まっている	● 運転切換えのために止まっていることがあります。
運転切換え時に音がする	● 洗いや脱水、給水、排水等の切換え音です。

仕様

種類	家庭用電気洗濯乾燥機
電源	AC 100V　50-60Hz共用
標準洗濯容量	5.0kg（乾燥布質量）
標準脱水容量	5.0kg（乾燥布質量）
標準乾燥容量	2.5kg（乾燥布質量）
洗濯方式	うず巻式
電動機定格消費電力	洗濯時：345W / 390W（50Hz/60Hz）
電熱装置定格消費電力	乾燥時：580W / 580W（50Hz/60Hz）
乾燥時の定格消費電力	室温20℃：755W / 780W（50Hz/60Hz）
使用水道水圧	0.03〜1MPa（0.3〜10kgf/cm²）
標準水量	41L
標準使用水量	90L
外形寸法※	幅560mm × 奥行き570mm × 高さ910mm
質量	34.0kg
コードの長さ	1.9m

※家庭用品品質表示法による表示（高さは給水ホースの継手、幅は排水ホース、奥行は突起物などを含む最大寸法）

- 製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りいただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間（本体）

（ただし、糸くずフィルターなどの消耗品は、保証期間内でも有料とさせていただきます。）

修理を依頼されるとき

39、40ページの表に従ってお確かめください。それでも異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。なお、衣服の補償など製品修理以外の責任はご容赦ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、洗濯機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。（注：補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客さまご相談窓口

■まずは、お買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

商品についての全般的なご相談 <お客さまセンター>

総合相談窓口：0120-865-812

受付時間　365日　9:00〜18:30

※FAXでご相談される場合

お客さまセンター：0570-013-791

（ナビダイヤルでおつなぎします。全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。）

商品の修理サービスについてのご相談

修理相談窓口：0120-982-540

受付時間　月曜日 〜 金曜日　9:00〜18:30
土曜・日曜・祝日　9:00〜17:30

※上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

■"お客さまご相談窓口"における個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けしたお客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り第三者への開示は行いません。（業務委託の場合および法令に基づき、必要とされる場合を除く。）

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにハイアールジャパンセールス株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。